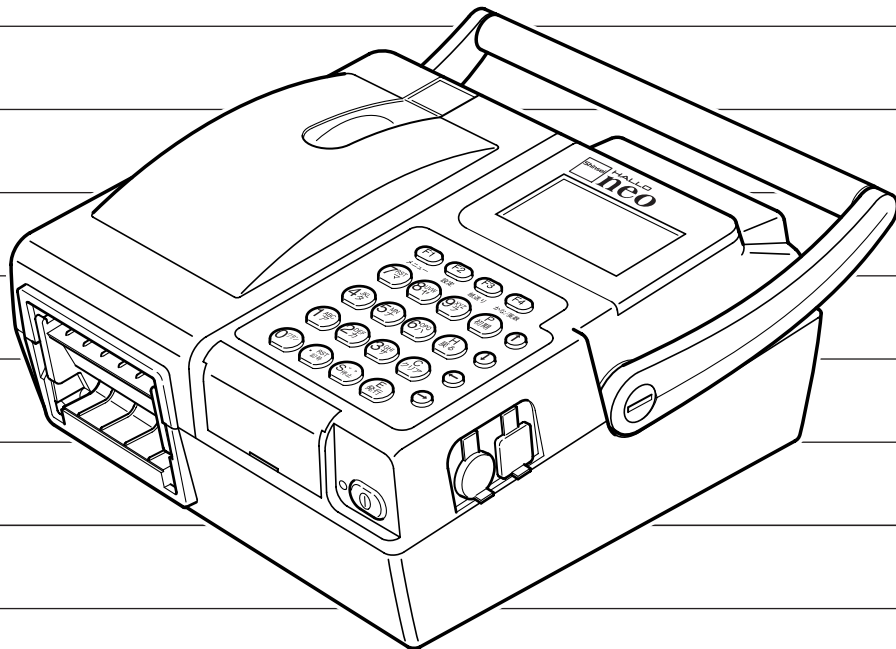


Shinsei HALLO
neo

COMPACT BARCODE PRINTER

取扱説明書

プリンタ操作編 (フリーパターンバージョン)



■はじめに

このたびは HALLO neo をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品は、最新鋭のエレクトロニクス技術と卓越した経験をもとに開発されたバーコードプリンターです。ご使用前に、この取扱説明書を充分お読みいただき、HALLO neo を正しく有効にご活用くださるようお願いいたします。また、この取扱説明書が必要になったとき、すぐにご利用できるように保管して下さい。



注意：●カバーの解放時に、サーマルヘッドがむき出しになりますが、**手を触れない**で下さい。

使用直後のラベル交換時などは、ヘッドが過熱していて、**火傷** のおそれがあります。

また、手油が **ヘッド劣化** の原因にもなりますので、絶対に触らないで下さい。

■電波障害自主規制について

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合は、使用者が適切な対策を講ずるように要求されることがあります。

VCCI-A

お願い： ニッケル水素 (Ni-MH) 電池のリサイクル

バッテリーパックは、不用になりましたら、当社へお届け下さい。

■ご使用時のお願い

本装置は、過度な電源ノイズや浮遊電波などの外部要因によって、内蔵しているプログラムの設定値が、変化したり破壊される場合がありますので、印字内容が正しいことを確認してから発行（使用）して下さい。

目次

1. 基本画面について	1	14. ヘッドチェック	46
1. 初期画面の表示	1	15. 発行履歴情報	48
2. 電池残量表示	2	16. テーブル情報編集	49
3. オプションその他の画面表示	2	1. 産地コード表（テーブル）の情報編集	49
2. メインメニューについて	3	2. 材料テーブルの情報編集	54
3. 呼出發行のしかた	4	17. 店舗情報確認	60
4. 検索発行のしかた	6	18. プリセット情報	63
5. 予約管理について	7	19. レイアウト情報	65
1. 一回発行	7	20. バージョン情報	67
2. グループ発行	8	21. テスト印字	68
3. グループ登録	9	22. カードの初期化	71
4. グループ削除	10	23. オプションボード情報	72
5. グループ構成印刷	11	24. 設定値一覧	73
6. ラベル設定について	12	25. スキャニング	74
7. 通信モードについて	17	26. リムーバブルディスク	75
8. 登録モードについて	18	27. 設定ニューについて	76
9. テーブルについて	25	28. 印字濃度の設定	77
10. 登録（プリセット）データの変更・追加登録	27	29. 内蔵時計設定	78
11. ツールメニューについて	30	30. 発行方式設定	79
12. データをカードに保存	31	31. 発行後テストパターン	80
1. 印字データをカードに保存	31	32. ほかの設定について	81
2. バックアップを作成	32	33. カレンダー設定	82
3. パートナーファイルを作成	33	1. 一時カレンダー設定	82
4. CSV でプリセット保存	34	2. 暦種類設定	83
5. テーブルデータを保存	36	34. 価格マーク設定	84
13. カードからデータ読込	39	35. LCD コントラスト調整	85
1. 印字データをカードから本体に読込	39	36. LCD バックライト設定	86
2. バックアップをカードから本体に読込	40	37. 自動パワーオフ	88
3. パートナーファイルをカードから本体に読込	41		
4. 店舗情報をカードから本体に読込	42		
5. テーブルデータをカードから本体に読込	45		

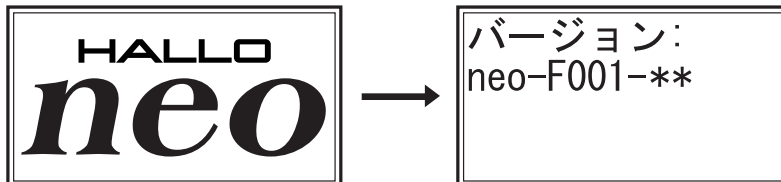
目次


38. ラベルの出し方向	89	60. テーブル情報管理	115
39. 印字左右移動	90	1. 指定テーブル削除	115
40. ボタン音設定	91	2. 全テーブルを削除	116
41. エラー音設定	92	61. データ全削除	117
42. 発行後の表示画面	93	62. 出荷時に戻す	118
43. デフォルト発行枚数	94	63. 内蔵メモリーを初期化	119
44. 発行前に一旦確認	95	64. 通信ポート設定	120
45. 初期画面設定	96	65. 発行距離表示	122
46. 0円の価格処理	97	66. 読取バーコード設定	123
47. 呼出番号固定	98	neo プリンタエラー表示一覧	124
48. 総額設定	99		
1. 消費税設定	99		
2. 税額端数処理設定	100		
49. 発行枚数固定	101		
50. スキャナ発行のしかた	102		
1. コピー発行	102		
2. 呼出發行	104		
51. メンテメニューについて	105		
52. センサーレベル調整	106		
53. JP-650 に互換	108		
54. 店舗情報互換性	109		
55. JP-650 の一時変更	110		
56. 発行履歴設定	111		
57. 一時変更を保存	112		
58. 一時変更時初期値	113		
59. 未使用ラベル削除	114		

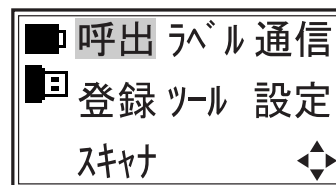
1. 基本画面について


1. 初期画面の表示

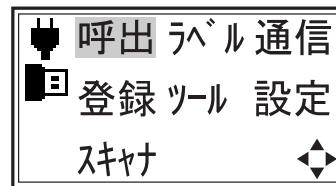
- (1) パワースイッチを押して電源を「オン」にすると、HALLO neo 画面に続き、バージョン情報画面が約 0.5 秒間表示され、初期画面になります。



- バッテリパックでご使用のときは、初期画面の左上に  マークが表示されます。



- AC コンバータでご使用のときは、初期画面の左上に  マークが表示されます。

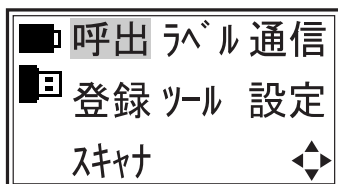


- (2) 初期画面が表示されます。

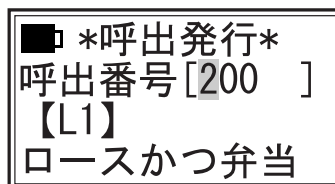
※初期画面はメインメニュー・呼出發行・プリセット登録・通信モード・スキャナ発行の中から設定できます。【→ P96 初期画面設定 参照】

※出荷時はメインメニューに設定されています。

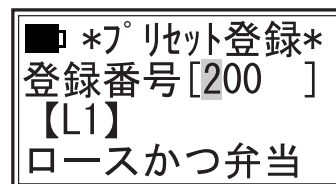
メインメニュー



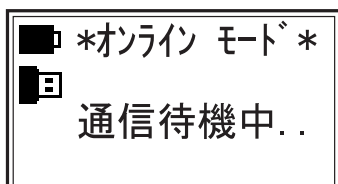
呼出發行



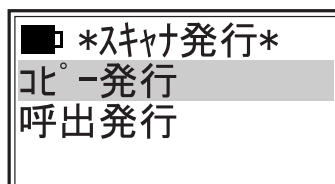
プリセット登録



通信モード



スキャナモード



1. 基本画面について (つづき)

2. 電池残量表示 (電源にバッテリーパックを使用している場合)

- 電池残量は、液晶ディスプレイの左上に5段階で表示されます。

段階 1 : 満充電



段階 2 : 3/4



段階 3 : 1/2



段階 4 : 1/4



段階 5 : 即充電



- 電源を「オン」にしたときや印字発行中に電池が無くなると、液晶ディスプレイに「充電して下さい!!」と表示され、60秒後にブザーが鳴り電源が切れます。

充電して下さい!!
60秒後電源を切断
任意キー元画面へ



減算していく——

40電して下さい!!
60秒後電源を切断
任意キー元画面へ

※任意のキーを押して他の画面にする事はできますが、減算は止まりません。

電池が少し残っていれば、その残り時間内に必要な処理を実施することができます。

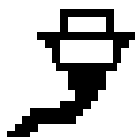
3. オプションその他の画面表示

- 液晶ディスプレイ左上の電源表示の下に接続可能な通信モードが表示されます。

USB モード



RS232C モード



Bluetooth モード

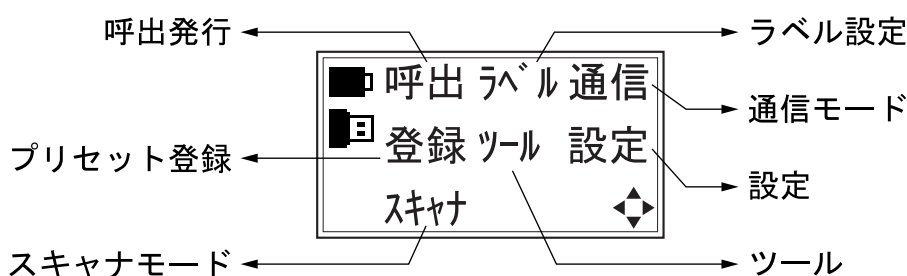


- 本体にCFカードを挿入した場合、通信モード表示の下に下記のマークが表示されます。



2. メインメニューについて

1. 各項目の主な機能



■呼出（呼出發行）

本体に登録されているプリセットデータを呼び出して、ラベル発行を行います。

■ラベル（ラベルリスト確認設定）

※本体の操作では、ラベルの追加、削除や、レイアウトの作成はできません。

『ラベルパートナー For neo』または『CFカード』で本体内蔵メモリに登録されたラベルリストデータを表示します。

※ラベル定義は、ラベル名、ラベル幅、ラベル高さ、ラベルのギャップ、左マージン、右マージン、上マージン、下マージン、停止位置、ティアオフの送り量、剥離の送り量、ラベルタイプが設定されています。

●データ作成時、変更が許可されている場合に限り、このモードから変更ができます。

■通信

●USB コネクタ、および機器によりオプションのコネクタを装備しています。

●『ラベルパートナー For neo』にて、レイアウトやプリセットデータを作成します。

●JP-650 互換モードで JP-650 のアプリケーションソフト『ラベルパートナー』と通信する事ができます。

※本体にオプションの RS232C ポート、専用通信ケーブル (C-5) が必要となります。

■登録

●プリセット登録されたデータの内容を確認できます。

●登録されているレイアウトを指定しての新規プリセットデータの登録、既存データを利用してのプリセットの追加登録を行うことができます。

■ツール

比較的使用頻度の多い設定、情報に関する各設定ができます。

■設定

比較的使用頻度の少ない本体の動作条件の設定ができます。

■スキャナ

スキャナ使用時のコピー発行、呼出發行の設定ができます。

2. 各項目の起動方法

■     キーで項目を選択し、 キーで決定、起動します。

3. 呼出發行のしかた

サンプルラベル



- 左に示すラベルデータが本体にプリセット登録されている事を前提にして説明します。
呼出番号 [200] 番に登録されているとします。
- 登録されたプリセットデータによって、入力項目や文字数が異なりますが、基本的な操作はここで説明する例と同じです。
- ②で例題にしている呼び出し番号 [200] は、ラベルサイズを「55 × 43」（幅 55mm・高さ 43mm）に設定されています。ラベルの停止位置などの微調整は、「6、ラベル設定について」の項を参照して下さい。

※ 本体では、ラベルのレイアウトは作成できません。

※ 『ラベルパートナー For neo』にて、レイアウトやプリセットデータを作成して下さい。

※ 機器にオプションで RS232C ポートがついている場合、JP-650 互換モードを設定することにより、JP-650 の『ラベルパートナー』や『データ登録 for neo 専用ツール』によって作成されたレイアウトやプリセットデータを登録する事もできます。

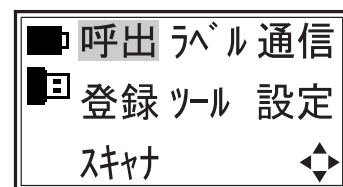
※ 『ラベルパートナー』や『データ登録 for neo 専用ツール』でのデータ作成については、それぞれの取扱説明書を参照して下さい。

① 電源を入れ、モードを選択する

1. パワースイッチを押して電源を「オン」にします。
2. 初期画面が表示されます。

■ 初期画面が「メインメニュー」の場合：

↑ ↓ ← → キーで「呼出」を選択し、 キーを押します。




メインメニュー

■ 初期画面が「呼出發行」の場合：

②へ進んで下さい。

■ 初期画面が「プリセット登録」「通信モード」

「スキャナモード」の場合：

 キーを押して「メインメニュー」画面を呼び出し、「呼出」を選択します。

② 呼出番号を入力する

- 呼出番号を入力します。

ここでは、**2^{DEF}方** **0⁷⁷方** **0⁷⁷方** と入力して、**E_{発行}** キーを押します。

※【L7】は、このデータのレイアウト番号です。

※「設定」の中で、「呼出番号固定」を有効にしている場合、この画面は表示されずに、③に進みます。

■ *呼出發行*
呼出番号 [200]
【L7】
コースかつ弁当

③ 発行枚数の入力とラベル発行

- 発行枚数には、「設定」の中の「デフォルト発行枚数」で設定された枚数が表示されます。

(出荷時：「1」)

- 新たに発行枚数を指定する場合は、枚数を入力できます。

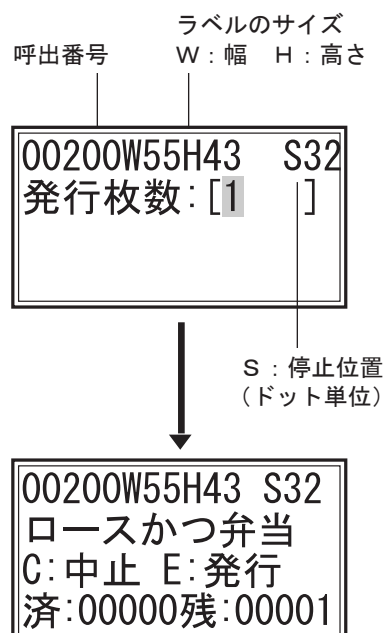
ここでは、**E_{発行}** キーを押します

- 「設定」で「発行前に一旦確認」を設定している場合は、右の確認画面が表示されます。【P95 参照】

E_{発行} キーを押すと発行されます。

- 「発行前に一旦確認」を設定していない場合は、右の確認画面を一瞬表示してラベルを発行します。

- 発行後②または③の画面に戻ります。



■ 発行を途中で停止する場合：

1. ラベルの連続発行中に **S_{停止}** キーを押すと発行を停止します。
2. **E_{発行}** キーを押すと発行を再開します。

4. 検索発行のしかた

■ キー項目で検索してラベルを発行する

1. 「メインメニュー」から「呼出發行」を選択します。
2. 「呼出發行」画面で (F4) キーを押すと「発行選択」画面が表示されます。
3. (↑) (↓) キーで「検索発行」を選択し、(E発行) キーを押します。
4. 検索キー項目にてプリセットデータから検索します。
(先頭の文字の一字でも検索できます。)
(例) (F4) キーを押して画面右上を「か」表示にして、
(9^{XYZ}) キーで [0] と入力し、(E発行) キーを押します。
5. (E発行) キーを押します。
6. プリセット登録の [200] 番「ロスかつ弁当」が検索されます。
7. (E発行) キーを押します。
8. 発行枚数を入力し、(E発行) キーを押します。
9. (E発行) キーを押すと発行されます。
発行後「検索データ入力：」画面に戻ります。

※上記4「検索データ入力：」で何も入力せずに (E発行) キーを押すとプリセットデータを全て見ることができます。

■ *発行選択*
検索発行
予約発行

検索発行 か
検索データ入力：
0

P1 *検索発行*
ロスかつ弁当

00200W55H43 S32
発行枚数：[1]

00200W55H43 S32
ロスかつ弁当
C:中止 E:発行
済:00000残:00001

補足

「検索データ入力：」で、登録されていない文字を入力すると画面の下に「プリセット未登録」と表示されます。
登録されている文字を再入力すると品名が表示され、ラベル発行が可能になります。

検索発行
プリセット未登録

5. 予約管理について

1. 一回発行

● 複数の呼出番号とそれぞれの発行枚数を入力（予約）した後、まとめて発行します。

1. 「メインメニュー」から「呼出發行」を選択します。
2. 「呼出發行」画面で (F4) キーを押すと「発行選択」画面が表示されます。
3. (↑) (↓) キーで「予約発行」を選択し、(E発行) キーを押します。
4. (↑) (↓) キーで「一回発行」を選択し、(E発行) キーを押します。

5. 呼出番号に (2DEFカ) (077) (077) と入力して、(E発行) キーを押します。

6. 発行枚数に (2DEFカ) と入力して、(E発行) キーを押します。

7. 「呼出番号」画面に戻りますので、続けて (2DEFカ) (077) (1ABCア) と入力して、(E発行) キーを押します。

8. 発行枚数に (3GHサ) と入力して、(E発行) キーを押します。

9. 「呼出番号」画面に戻ります。

ここで入力を終了しますので、呼出番号に何も入力しないで (E発行) キーを押します。

呼出番号 [200] のラベルが 2 枚、[201] のラベルが 3 枚発行されます。

発行中の品名が表示され、終わると「呼出番号」画面に戻ります。

■ *発行選択*
検索発行
予約発行



■ *予約管理*
一回発行
グループ発行
グループ登録



01*予約*
呼出番号 [200]
【L1】
コースかつ弁当



01*予約*
呼出番号 [200]
発行枚数: [2]

続けて [201] を設定



03*予約* 0->終了
呼出番号 [0]
【無効】



00200W55H43 S32
コースかつ弁当
S:一時停止
済:00000残:00001

2. グループ発行

- グループ番号を指定して、登録されているデータのラベルをまとめて発行します。
- グループ番号 [1] に呼出番号 [200] [201] 番が登録されているとします。

1. 「メインメニュー」から「呼出發行」を選択します。
2. 「呼出發行」画面で (F4) キーを押すと「発行選択」画面が表示されます。
3. (↑) (↓) キーで「予約発行」を選択し、(E発行) キーを押します。
4. (↑) (↓) キーで「グループ発行」を選択し、(E発行) キーを押します。
5. 「グループ番号」画面に (1^{ABC}_ア) を入力します。
(画面の下にグループ名が表示されます。)
6. (E発行) キーを押すと、グループ番号 [1] に登録されているデータのラベルが全て発行されます。
発行中の品名が表示され、終わると「グループ番号」画面に戻ります。

■ *予約管理*
一回発行
グループ発行
グループ登録



グループ呼出
グループ番号 [1]
弁当



00200W55H43 S32
コースかつ弁当
S:一時停止
済:00000残:00001

補足

1. 一回発行 (P7) で、登録されていない呼出番号を入力すると画面の下に【未使用】→「プリセット未登録」と表示されます。登録されている呼出番号を再入力すると品名が表示され、ラベル発行が可能になります。
2. グループ発行 (上記) で、登録されていないグループ番号を入力すると画面の下に【未使用】→「グループが未登録」と表示されます。登録されている番号を再入力するとグループ名が表示され、ラベル発行が可能になります。

01*予約*
呼出番号 [300]
プリセット未登録

グループ呼出
グループ番号 [3]
グループが未登録

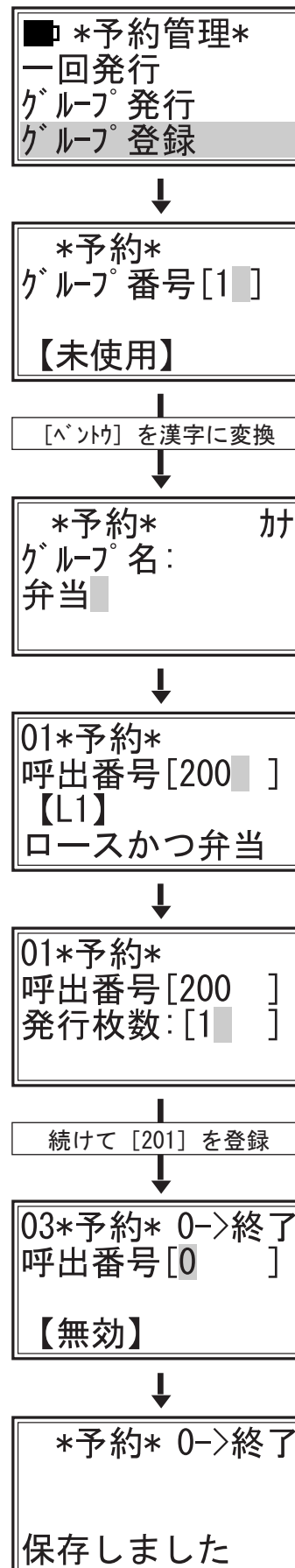
3. グループ登録

- グループ番号 [1] に呼出番号 [200] [201] 番を登録します。

1. 「メインメニュー」から「呼出発行」を選択します。
2. 「呼出発行」画面で (F4) キーを押すと「発行選択」画面が表示されます。
3. (↑) (↓) キーで「予約発行」を選択し、(E発行) キーを押します。
4. (↑) (↓) キーで「グループ登録」を選択し、(E発行) キーを押します。
5. 「グループ番号」画面に (1ABCア) を入力して、(E発行) キーを押します。
(グループ番号は [1] から [10] まで登録可能です。)
6. グループに適切な名前を付けることができます。
画面右上が「か」表示になっていることを確認します。
違う場合は、(F4) キーを押して「か」にして下さい。
(0フワン) ~ (9XYZワ) ・ (S停止) キーで「バントウ」と入力し、(↑) (↓) キーで「弁当」に変換し、(E発行) キーで確定します。
7. もう一度 (E発行) キーを押します。
8. 呼出番号に (2DEFカ) (0フワン) (0フワン) と入力して、(E発行) キーを押します。
9. 発行枚数に (1ABCア) と入力して、(E発行) キーを押します。
10. 「呼出番号」画面に戻りますので、続けて (2DEFカ) (0フワン) (1ABCア) と入力して、(E発行) キーを押します。
11. 発行枚数に (1ABCア) と入力して、(E発行) キーを押します。
12. 「呼出番号」画面に戻ります。
ここで登録を終了しますので、呼出番号に何も入力しないで (E発行) キーを押すと、「保存しました」と表示して「グループ番号」画面に戻ります。

補足

(0フワン) と (E発行) キーを同時に押しでも登録を終了することができます。



次ページへつづく

4. グループ削除

● グループ番号 [1] を削除します。

1. 「メインメニュー」から「呼出發行」を選択します。
2. 「呼出發行」画面で (F4) キーを押すと「発行選択」画面が表示されます。
3. (↑) (↓) キーで「予約発行」を選択し、(E 発行) キーを押します。
4. (↑) (↓) キーで「グループ削除」を選択し、(E 発行) キーを押します。
5. 「グループ番号」画面に (1 ABC ア) を入力して、(E 発行) キーを押します。
6. (←) (→) キーで「はい」を選択し、(E 発行) キーを押します。
7. 「削除しました」と表示され、「グループ番号」画面に戻ります。

※「いいえ」を選択すると、削除しないで「グループ番号」画面に戻ります。

■ *予約管理*
グループ発行
グループ登録
グループ削除



グループ削除
グループ番号 [1]
弁当



グループ削除?
いいえ はい
弁当



グループ削除
グループ番号 [1]
削除しました

補足

3. グループ登録 (P9) で、登録されている番号を入力すると画面の下にグループ名が表示されます。
このまま操作を続けて、データの追加や変更をすることができます。(上書き保存)
新規登録の場合は、画面の下に【未使用】と表示していることを確認して下さい。
4. グループ削除 (上記) で、登録されていないグループ番号を入力すると画面の下に【未使用】→「グループが未登録」と表示されます。登録されている番号を再入力するとグループ名が表示され、グループを削除することができます。

旧データを上書き?

いいえ はい

グループ削除
グループ番号 [3]

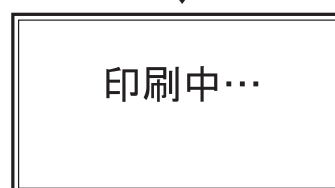
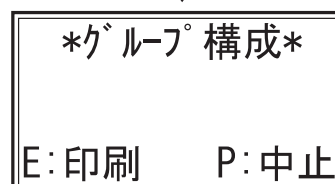
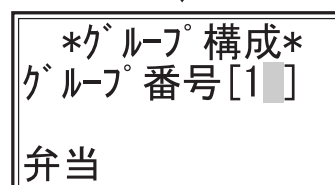
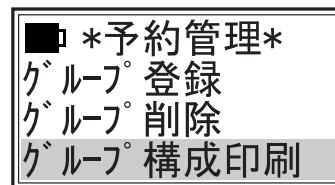
グループが未登録

5. グループ構成印刷

- グループを指定して、登録されている「グループ名」「呼出番号」「発行枚数」を印刷します。

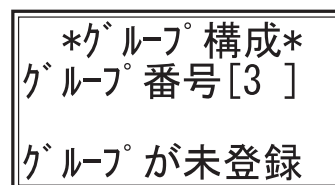
1. 「メインメニュー」から「呼出發行」を選択します。
2. 「呼出發行」画面で (F4) キーを押すと「発行選択」画面が表示されます。
3. (↑) (↓) キーで「予約発行」を選択し、(E 発行) キーを押します。
4. (↑) (↓) キーで「グループ構成印刷」を選択し、(E 発行) キーを押します。
5. 「グループ番号」画面に (1^{ABC}_ア) を入力して、(E 発行) キーを押します。
6. (E 発行) キーを押すと、「印刷中…」と表示してグループ番号 [1] の構成が印刷されます。
7. 印刷が終わると、「グループ番号」画面に戻ります。

- ※ (P 初期) キーを押すと、印刷しないで「グループ番号」画面に戻ります。



補足

5. グループ構成印刷（上記）で、登録されていないグループ番号を入力すると画面の下に【未使用】→「グループが未登録」と表示されます。登録されている番号を再入力するとグループ名が表示され、グループ構成を印刷することができます。




6. ラベル設定について

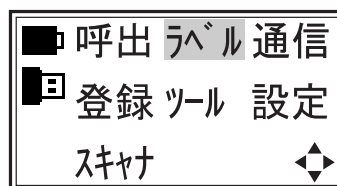
本体の操作で、ラベルリストを追加する事はできません。登録されたものを変更する事ができます。データ登録時、ラベル設定項目の本体での変更を禁止か解除の場合に限り変更する事ができます。ここでは、「55 × 43mm ラベルL7」ラベルタイプ、アマークの内容確認と印字位置の設定を例に説明します。スキャナでコピー発行する時のラベルが登録されており、このラベルに限り変更することができます。

① 電源を入れ、モードを選択する

1. パワースイッチを押して電源を「オン」にします。
2. 初期画面が表示されます。

■ 初期画面が「メインメニュー」の場合：

↑ ↓ ← → キーで「ラベル」を選択し、 キーを押します。



メインメニュー

■ 初期画面が「呼出發行」「プリセット登録」「通信モード」「スキャナモード」の場合：

 キーを押して「メインメニュー」画面を呼び出し、「ラベル」を選択します。

② ラベルリストから変更するラベルを選択

● 本体に登録されているラベルリストを表示します。

※本体でラベルを登録する事はできません。

※登録されているラベルにより表示が変わります。

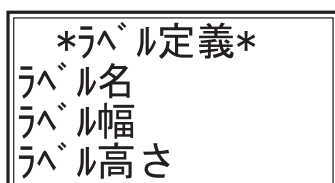
ここでは、2行目の「55 × 43mm ラベルL7」を選択します。

↓ キーを押して  キーを押します。



③ ラベル定義メニューの項目

■   キーを押してスクロールさせると隠れている項目が表示されます。



ラベルのギャップ
左マージン
右マージン

上マージン
下マージン
停止位置

ティオフの送り量
剥離の送り量
ラベルのタイプ

関連付けレイアウト

④ 各項目の起動方法

- (↑) (↓) キーで項目を選択し、(E 発行) キーで決定、起動します。

⑤ 各モードの説明

1. ラベル名

ラベルリストで表示するラベル名を変更する事ができます。
ここでは、「55 × 43mm ラベルL7」を確認します。
全角8文字以内です。

ラベル定義 ｶ
ラベル名：
55X43mmラベルL7

補足

- 変更する場合は、(F4) キーで入力モードをカナ、数字、英文字に切り替え、数字・文字キーで入力していきます。(入力モードは表示画面右上に「ｶ」「数」「英」が表示されます。)
- 最後の「L7」がレイアウト番号です。本体でこの変更は行わないで下さい。

2. ラベル幅

ラベル幅は、24mm ～ 56mm まで設定できます。
ここでは [55] を確認します。

変更する場合は、数字キーで入力し、(E 発行) キーを押します。
「保存しました」と表示し、「ラベル定義メニュー」に戻ります。

ラベル幅：
[55]mm (24-56)

3. ラベル高さ（長さ）

ラベル高さは、10mm ～ 100mm まで設定できます。
ここでは [43] を確認します。

変更する場合は、数字キーで入力し、(E 発行) キーを押します。
「保存しました」と表示し、「ラベル定義メニュー」に戻ります。

ラベル高さ：
[43]mm (10-100)

4. ラベルのギャップ

抜きラベルの場合のラベルとラベルの隙間（ギャップ）を設定します。0mm ～ 10mm まで設定できます。
ここでは [0] を確認します。

変更する場合は、数字キーで入力し、(E 発行) キーを押します。
「保存しました」と表示し、「ラベル定義メニュー」に戻ります。

ラベルギャップ：
[0]mm (0-10)

次ページへつづく

6. ラベル設定について (つづき)

5. 左マージン

ラベルの左側の余白量を設定します。

0mm ～ 20mm まで設定できます。

ここでは、[1] を確認します。

変更する場合は、数字キーで入力し、キーを押します。

「保存しました」と表示し、「ラベル定義メニュー」に戻ります。

左マージン:
[1] mm (0-20)

6. 右マージン

ラベルの右側の余白量を設定します。

0mm ～ 20mm まで設定できます。

ここでは、[1] を確認します。

変更する場合は、数字キーで入力し、キーを押します。

「保存しました」と表示し、「ラベル定義メニュー」に戻ります。

右マージン:
[1] mm (0-20)

7. 上マージン

ラベルの上側の余白量を設定します。

0mm ～ 20mm まで設定できます。

ここでは、[1] を確認します。

変更する場合は、数字キーで入力し、キーを押します。

「保存しました」と表示し、「ラベル定義メニュー」に戻ります。


上マージン:
[1] mm (0-20)

8. 下マージン

ラベルの下側の余白量を設定します。

0mm ～ 20mm まで設定できます。

ここでは、[1] を確認します。

変更する場合は、数字キーで入力し、キーを押します。

「保存しました」と表示し、「ラベル定義メニュー」に戻ります。

下マージン:
[1] mm (0-20)

9. 停止位置

ラベルの停止する位置設定が次の印字を開始する位置になるので、ラベルに対する印字位置を変化させる事ができます。

-60 ~ 400 ドット (1 ドット=1/8mm) で設定できます。

ここでは、[28] を確認します。

変更する場合は、(↑) (↓) キーで数値を変更し、(E 発行) キーを押します。「保存しました」と表示し、「ラベル定義メニュー」に戻ります。

補足

停止位置設定後、(F3) キーを押すと、印字位置が四角い枠で印字されます。

この印字を参照し、印字位置を決定して下さい。

停止位置：
[28] ドット (1/8mm)
F3で確認

10. ティアオフの送り量

発行方式をティアオフ発行（最後の印字が終わったあと、手でカットしやすい位置までラベルを送り出します。）に設定している場合に対応します。

-60 ~ 400 ドット (1/8mm) で設定できます。

ここでは、[-6] を確認します。

変更する場合は、(↑) (↓) キーで数値を変更し、(E 発行) キーを押します。「保存しました」と表示し、「ラベル定義メニュー」に戻ります。

補足

「メインメニュー」の「設定」の中の「発行方式設定」で、[ティア] を選択【→ P79 参照】

してあれば、ティアオフの送り量設定後、(F3) キーを押すと、紙送りをします。

カットしやすい位置にラベルの送り量を設定し、決定して下さい。

ティアオフ送り量：
[-6] ドット (1/8mm)
F3で確認

11. 剥離の送り量

発行方式を剥離発行（1枚印字するごとにラベルを台紙から剥がしながら送り出します。）に設定している場合に対応します。

-60 ~ 400 ドット (1/8mm) で設定できます。

ここでは [0] を確認します。

変更する場合は、(↑) (↓) キーで数値を変更し、(E 発行) キーを押します。「保存しました」と表示し、「ラベル定義メニュー」に戻ります。

剥離送り量：
[0] ドット (1/8mm)
F3で確認

次ページへつづく

6. ラベル設定について (つづき)

補足

「メインメニュー」の「設定」の中の「発行方式設定」で、[剥離] を選択【→ P79 参照】してあれば、剥離の送り量設定後、(F3) キーを押すと、紙送りをします。

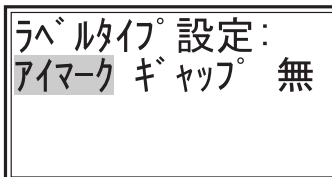
ラベルを取りやすい位置にラベルの剥離送り量を設定し、決定して下さい。

12. ラベルのタイプ

ラベルのピッチ（長さ）を検出する方式の設定です。

[アイマーク] [ギャップ] [無し] の3つから、(←) (→) キーで選択し、(E) 発行 キーを押します。

「保存しました」と表示し、「ラベル定義メニュー」に戻ります。

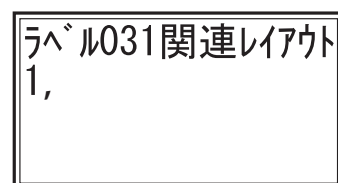


補足

- 「アイマーク」とは、台紙の裏にある太い線です。これが有るラベルを使用する時に選択します。
- 「ギャップ」とは、抜きラベルでのラベルとラベルの隙間です。このタイプのラベルを使用する時に選択します。(P13「4. ラベルのギャップ」の設定を行って下さい。)
- 「無」は、ジャーナル紙を使用する場合に選択し、その送り量は、「ラベルサイズ設定」で設定している長さになります。

13. 関連付けレイアウト

ラベル番号とそのラベルを使用しているレイアウト番号を表示します。



⑥ ラベル定義メニューの終了

■「ラベル定義」画面状態で、(F1) キーを押すと「ラベル定義」が終了し、「メインメニュー」画面に切り替わります。

■「ラベル定義」画面状態で、(P) 初期 キーを押すと「ラベル定義」が終了し、「ラベルリスト」画面に切り替わります。もう一度 (P) 初期 キーを押すと「メインメニュー」に替わります。

7. 通信モードについて

※パソコンに組み込んだ、ラベル作成ソフト『ラベルパートナー For neo』で作成したデータを受信して内蔵メモリーに登録、ラベルの印字発行、メモリカードに登録などをする事ができます。接続の方法は機器の取扱説明書をご覧ください。

※RS232C で使用する場合、JP650 用『ラベルパートナー』の設定された通信条件（ボーレートなどの部分）に通信速度の条件を合わせておく必要があります。

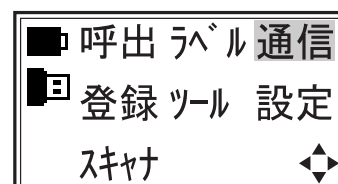
※『ラベルパートナー For neo』の操作や通信は、取扱説明書をご覧ください。

① 電源を入れ、モードを選択する

1. パワースイッチを押して電源を「オン」にします。
2. 初期画面が表示されます。

■ 初期画面が「メインメニュー」の場合：

↑ ↓ ← → キーで「通信」を選択し、キーを押します。



メインメニュー

■ 初期画面が「通信」の場合：

②へ進んで下さい。

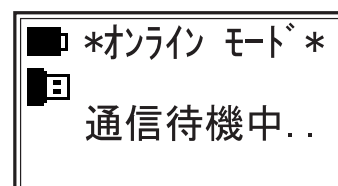
■ 初期画面が「呼出發行」「プリセット登録」「スキャナモード」の場合：

キーを押して「メインメニュー」画面を呼び出し、「通信」を選択します。

② 通信モード

- パソコンのアプリケーションソフト『ラベルパートナー For neo』で通信する場合は、USB ケーブルでパソコンと本体を接続します。

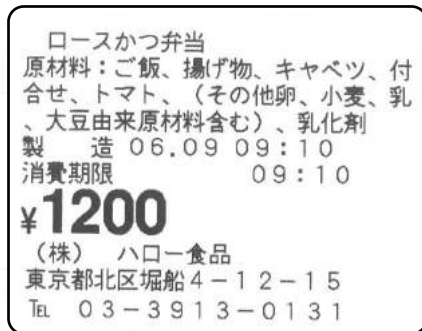
『送信用エクセルツール』で通信する場合は、オプションのRS232C 通信ケーブル (G-5) でパソコンと本体を接続します。



※オプションの通信ポートが無い機器では、選択できません。

8. 登録モードについて

サンプルラベル




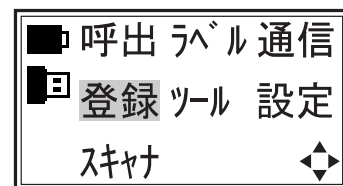
- 左に示すラベルの登録を例に説明します。
 - 登録番号 [1] 番に、レイアウト [5] で登録します。
 - レイアウト [5] は登録されているとします。
 - 本体では、レイアウトの登録はできません。
- ※『ラベルパートナー For neo』でレイアウト、プリセットデータを作成して下さい。
- ※互換モードにてJPの『ラベルパートナー』や『データ登録 for neo 専用ツール』でのデータ作成方法は、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

① 電源を入れ、モードを選択する

1. パワースイッチを押して電源を「オン」にします。
2. 初期画面が表示されます。

■ 初期画面が「メインメニュー」の場合：

↑ ↓ ← → キーで「登録」を選択し、 キーを押します。



メインメニュー

■ 初期画面が「登録」の場合：

②へ進んで下さい。

■ 初期画面が「呼出發行」「通信モード」「スキャナモード」の場合：

 キーを押して「メインメニュー」画面を呼び出し、「登録」を選択します。

② 登録番号を入力する

● ここでは、[0001] 番に登録します。

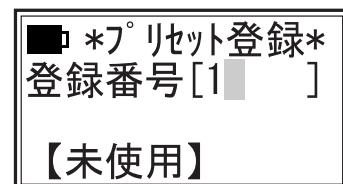
 と入力して、 キーを押します。

補足

登録番号は、[1] ～ [10000] まで使用できます。

これ以外の数字を入力すると、【無効】と表示されます。

使用していない数字（未登録番号）を入力すると、【未使用】と表示されます。



③ レイアウト番号を入力する

- ここでは、レイアウト [5] を使いますので、**(5^{MN})** と入力して、**(E_{発行})** キーを押します。

補足

レイアウト番号は、[1] ～ [20] まで使用できます。

登録されたレイアウトのみ指定できます。本体では、レイアウトは設定できません。

フ リセッ ト登 録
レイアウト番号 [5]
新規

④ 品名を入力する

※画面右上に表示されている「N」が新規登録モードを示します。ここでは、カナ変換を使用し、「ロースかつ弁当」と入力する手順を説明します。

※画面右上が「か」表示になっている事を確認します。

違う場合は、**(F4)** キーを押して「か」にして下さい。

(0^{フアン}) ～ **(9^{XYZ})**・**(S^{停止})** キーで「ロースかつ弁当」と入力します。

(↓) キーで変換しますが、右の表示のようになる場合は **(←)** キーで前の画面に戻り、**(→)** キーで区切り (カーソル) を「ロース」にし、**(↓)** キーで変換します。

文 P1	L5	N	か
品名			
ロースかつ			弁当

文 P1	L5	N	か
品名			
ロース			かつ弁当

(←) キーで前画面に戻り、

(→) キーで「ロース」までカーソルを移動

文 P1	L5	N	か
品名			
ロースかつ			弁当

(↓) キーで変換

文 P1	L5	N	か
品名			
ロース			かつ弁当

(E_{発行}) キーを押す

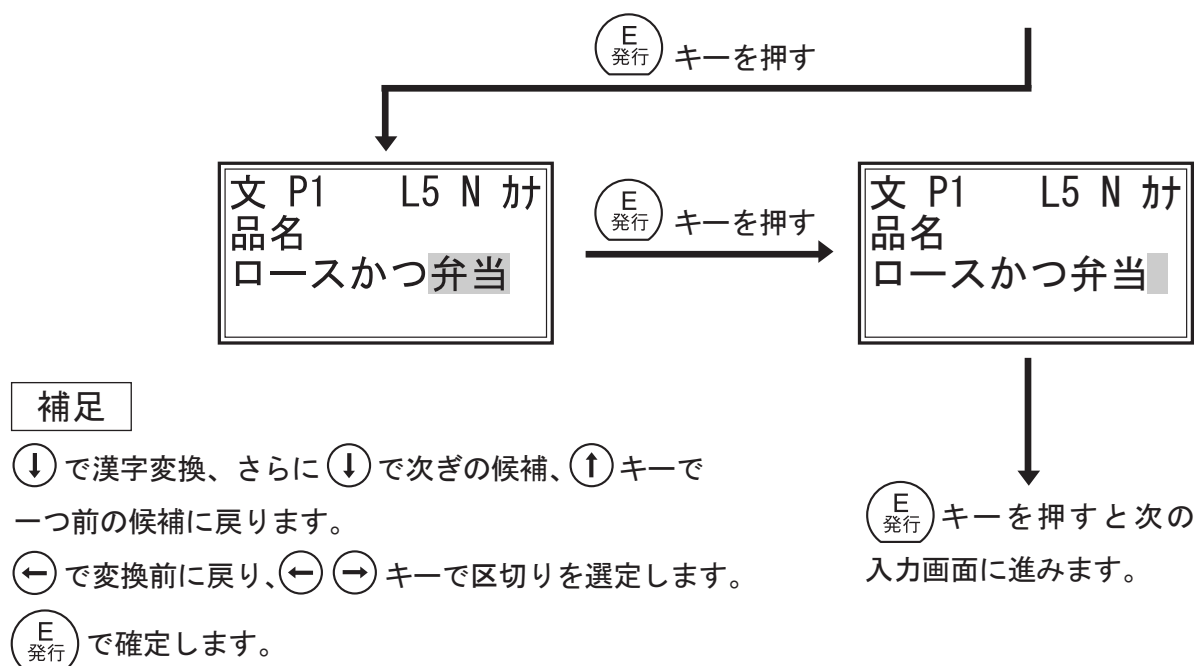
文 P1	L5	N	か
品名			
ロース			かつ弁当

(↓) キーで変換

文 P1	L5	N	か
品名			
ロース			かつ弁当

次ページへつづく

8. 登録モードについて (つづき)



⑤ 原材料を入力する

- ここでは、原材料として、
 - 1行目に「原材料：ご飯、揚げ物、キャベツ、付」
 - 2行目に「合せ、トマト、(その他卵、小麦、乳)」
 - 3行目に「(大豆由来原材料含む)、乳化剤」と入力します。
- 前ページ④と同じ要領で、
数字・文字キーで1行目に「ゲンザイリョウ：ゴ ン。」と入力します。
 - ④ ↑ ④ ↓ ④ ← ④ → キーを使用し、漢字の「原材料：ご飯、」に変換し、さらに数字・文字キーで「アゲモノ、キャベツ、ツキ」と入力します。
 - ④ ↑ ④ ↓ ④ ← ④ → キーを使用し、漢字の「揚げ物、キャベツ、付」に変換していきます。

文 P1 L5 N かつ
原材料1行目
ゲンザイリョウ：ゴ ン、

文 P1 L5 N かつ
原材料1行目
原材料：ご飯、アゲ
モノ、キャベツ、ツキ

同様に、
2行目に「合せ、トマト、(その他卵、小麦、乳)」
3行目に「(大豆由来原材料含む)、乳化剤」
と入力していきます。

文 P1 L5 N かつ
原材料2行目
合せ、トマト、(その他卵、小麦、

補足

3行目の「乳化剤」の入力時に「材料テーブル」を使用して入力する方法を説明します。

※「材料テーブル」とは、原材料など、登録時に「材料テーブル」の登録データを利用する事ができます。

※neo本体で商品の追加登録を行う時に、材料名を「材料テーブル」から発音（アイウエオ等）で選び出し、簡単に登録する事ができます。

※ただし「材料テーブル」は登録されているものに限りです。

※「ツールメニュー」の「テーブル情報編集」の中の「材料テーブル」でデータを「新規登録」した場合【 → P54 参照 】と、パソコンでデータを作成して neo 本体に送った場合に有効になります。

※「材料テーブル」が設定され、「に」の欄に乳剤料が登録されているとします。

●原材料3行目の入力で「、大豆由来原材料含む）」と入力した後から、説明をします。

画面右上の「材」表示を、(F4) キーを押して「材」に切り替えます。

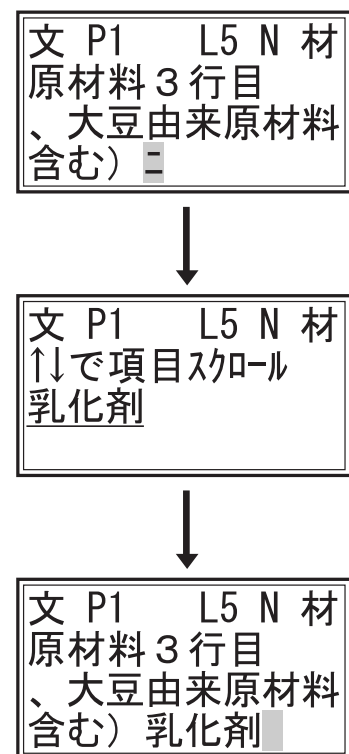
(5^{MN}ナ) キーで「に」と入力します。

(E_{発行}) キーで画面が切り替わります。

3行目に「乳化剤」と表示されるまで (↑) (↓) キーで候補項目をスクロールします。

(E_{発行}) キーで前の画面に戻り、「乳化剤」が入力されます。

(E_{発行}) キーを押して次の入力へ進みます。



8. 登録モードについて (つづき)

⑥ 製造の入力

0^ワ ~ 9^{XYZ}・S^{停止} キーで「セイゾウ」と入力します。

↑ ↓ キーで漢字変換し、E^{発行} キーで確定します。

← キーでカーソルを「造」に移動させて、S^{停止} キーを押すと、スペースを空ける事ができます。

ここでは、4回押して全角2文字分空けます。

E^{発行} キーを押して次の入力へ進みます。

文 P1	L5	N	か
セイゾウ			



文 P1	L5	N	か
製造			



文 P1	L5	N	か
製造			



文 P1	L5	N	か
製		造	

⑦ 価格の入力

●ここでは、価格を [¥1200] にします。

1^{ABC} 2^{DEF} 0^ワ 0^ワ と入力し、E^{発行} キーを押して確定します。

価 P1	L5	N	
価格			
[¥1200]			

⑧ 消費期限

●上記⑥と同じ要領で、
数字・文字キーで、「シヨウキゲン」と入力します。

↑ ↓ キーで漢字変換し、E^{発行} キーで確定します。

E^{発行} キーを押して次の入力へ進みます。

文 P1	L5	N	か
消費期限			

⑨ 消費期限の補正值（加算値）入力

※消費期限や賞味期限の期限補正を設定します。
現在の日時から、何日、何時間加算するかを入力します。

●ここでは、現在より1日と4時間後を設定します。

①^{ABC}_ア と入力し、②^E_{発行} キーを押して確定します。

④^{JKL}_タ と入力し、②^E_{発行} キーを押して確定します。

日 P1	L5 N
消費期限	
+1	日



時 P1	L5 N
消費期限	
+4	時間

⑩ 会社名の入力

●ここでは、会社名に「(株) ハロー食品」と入力します。
数字・文字キーで、「カブハローシヨクヒン」と入力し、①[↑] ②[↓] キー
で変換、③[←] ④[→] キーで区切りを指定して「(株) ハロー食品」
にし、②^E_{発行} キーを押して確定します。

文 P1	L5 N	カ
会社名		
		(株) ハロー食品

⑪ 住所の入力

●ここでは、住所に「東京都北区堀船4-1 2-1 5」と入力します。
数字・文字キーで、「トウキョウトキョウボリフネ」と入力し、①[↑] ②[↓] キー
で変換、③[←] ④[→] キーで区切りを指定して「東京都北区堀船」
にし、②^E_{発行} キーを押して確定します。

文 P1	L5 N	カ
住所		
東京都北区堀船		



文 P1	L5 N	数
住所		
東京都北区堀船4		
-1 2-1 5		

右上表示を⑤^{F4} キーで「数」「カ」に切り替えながら、
「4-1 2-1 5」の各文字を①[↑] ②[↓] キーで全角に変換し
ながら入力し、②^E_{発行} キーを押して確定します。

②^E_{発行} キーを押して次の入力へ進みます。

8. 登録モードについて (つづき)

⑫ 電話番号の入力

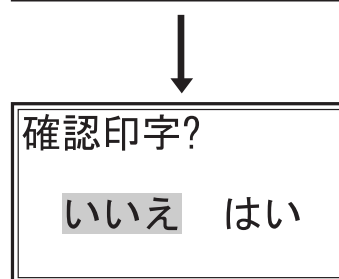
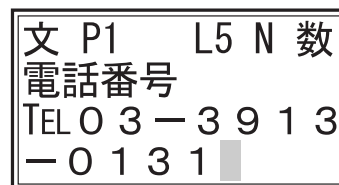
- ここでは、電話番号に「TEL 03-3913-0131」と入力します。

数字・文字キーで、「TEL」と入力し、**↑** **↓** キーで「TEL」に変換し、**E** **発行** キーを押して確定します。

右上表示を **F4** キーで「数」「か」に切り替えながら、「03-3913-0131」の各文字を **↑** **↓** キーで全角に変換しながら入力し、**E** **発行** キーを押して確定します。

E **発行** キーを押します。

「確認印字?」と表示されます。ここでは **←** **→** キーで「いいえ」を選択して **E** **発行** キーを押します。

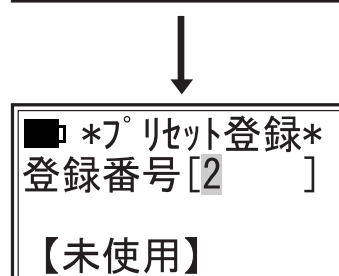
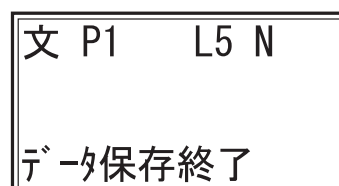


⑬ データ保存終了

「データ保存終了」と表示され、②の「登録番号」入力画面に戻ります。

※このとき表示される登録番号は、今回登録した番号の次の空番号となります。

続けてプリセット（登録）する場合は②～⑫の手順を行って下さい。



補足

- 上記「確認印字?」画面で「はい」を選択すると、入力した内容でラベルを1枚発行してデータが保存されます。

9. テーブルについて

『ラベルパートナー』でレイアウト登録時に各項目をテーブルと関連付けて設定してあれば、各種のテーブルが使用できます。

※テーブルデータは、本体の固定領域で保存され、テーブル内容が自由に登録できます。本体に最大7つのテーブルを同時に登録でき、テーブルを番号と名前で管理します。テーブル番号はテーブル保存領域と関連付けられ、番号ごとにテーブルのサイズが決まっています。(下記表参照)

テーブル番号	最大容量	登録可能項目数	登録可能最大件数	用途
1	1024B (バイト)	16	1件	店舗情報
2	10KB	16	1000件	自由
3	4KB	16	300件	自由
4	32KB	16	1000件	自由
5	14KB	16	1000件	自由
7	16KB	16	8件	マーク登録
8	64KB	16	20件	イメージ登録

注) テーブル番号「6」番は使用できません。

1. 用途固定テーブル

テーブル番号「1」「7」「8」番は用途固定テーブルです。

「1」番：店舗情報を登録するテーブルで、登録できるデータは1件のみです。

「7」番：マークテーブルで、リサイクルマークのようなマークをこのテーブルに登録します。

「8」番：イメージテーブルで、図や絵をこのテーブルに登録します。

2. 自由登録テーブル

テーブル番号「2」「3」「4」「5」番のテーブルは自由に使用できます。項目定義は自由です。容量制限一杯までデータの登録が可能で、用途によって4種類に分けられます。

①発音入力テーブル

入力画面で右上が「材」の時、最初の発音一文字を入力すると、事前登録した同発音の言葉が表示され、矢印キーでスクロールして選択することができます。

食品添加物・原材料テーブルなど、本体の文字変換で入力が難しい言葉や長文になる時に使用します。(次ページ：発音入力テーブル例参照)

②選択入力テーブル

テーブル登録されているものの中から選択方式で入力します。

保存温度など、件数が少なく、入力ミスしやすい数値が入っている場合などに使用します。

(次ページ：選択入力テーブル例参照)

③コードテーブル

数字コードで保存します。印字する場合は、数字コードで選択します。原産地コードテーブルなど件数が多い場合や、コード番号入力の方が解りやすい場合に使用します。

次ページへつづく

9. テーブルについて (つづき)

④ マルチテーブル

テーブル番号に項目が複数あり、キー項目（呼び出すときに鍵になる項目）の定義が必要です。キー項目の内容だけ変更する事により、他の項目内容を全て変えることができます。

例として生産者リストテーブルを上げると、プリンタ本体に生産者コード、生産者名、住所、電話番号をマルチテーブルとして登録し、生産者コードをキー項目として定義しておき、ラベル発行時にキー項目の生産者コードが求められ、入力された生産者コードによって生産者名、住所、電話番号などが自動的に更新され、ラベルに印字されます。

(下記：マルチテーブル例参照)

発音入力テーブル 例

	Firld 1	Firld 2
Record 1	あ	亜硝酸 Na
Record 2	あ	安定剤 (カラギナン)
Record 3	あ	アナトー色素
Record 4	い	イースト
Record 5	い	異性化液糖
Record 6	い	莓
Record 7	え	エビステーキカツ
Record 8	お	オリーブオイル
Record 9	か	カカオ
Record 10	き	キサントタンガム
Record 11	く	クエン酸 Ca
Record 12	こ	酵母エキス

選択入力テーブル 例

	Firld 2
Record 1	-6°C以下で保存して下さい
Record 2	-10°C以下で保存して下さい
Record 3	-12°C以下で保存して下さい
Record 4	-15°C以下で保存して下さい
Record 5	0°C以下で保存して下さい

マルチテーブル 例

	Firld 1 生産者コード (Key Field)	Firld 2 生産者名	Firld 3 住 所	Firld 4 電 話
Record 1	000012	吉野	熊本県	012-345-6789
Record 2	010123	向井	福岡県古賀市	123-456-7890
Record 3	021546	田中	静岡県浜松市	234-567-8901
Record 4	034651	斉藤	宮城県	345-678-9012
Record 5	046542	土屋	兵庫県尼崎市	456-789-0123
Record 6	052487	山崎	兵庫県川西市	567-890-1234
Record 7	063654	亀井	広島市安佐北区	678-901-2345

10. 登録（プリセット）データの変更・追加登録

登録済データの内容を変更し、登録番号を変えて新規登録します。



変更前



変更後

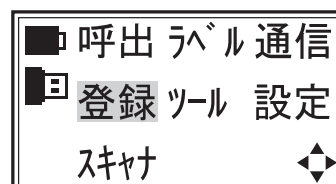
- 左に示すラベルの登録を例に説明します。
- 使用する登録番号：1番
- 変更内容
登録番号：2番
品名：
[ロースかつ弁当]を[唐揚げ弁当]
価格：
[¥1200]を[¥800]

① 電源を入れ、モードを選択する

1. パワースイッチを押して電源を「オン」にします。
2. 初期画面が表示されます。

- 初期画面が「メインメニュー」の場合：

(↑) (↓) (←) (→) キーで「登録」を選択し、(E) (発行) キーを押します。



メインメニュー

- 初期画面が「登録」の場合：

②へ進んで下さい。

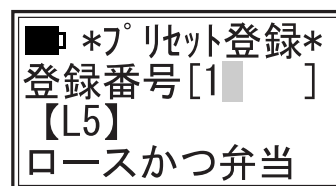
- 初期画面が「呼出發行」「通信モード」「スキャナモード」の場合：

(F1) キーを押して「メインメニュー」画面を呼び出し、「登録」を選択します。

② 登録番号を入力する

- ここでは、[1] 番のデータを呼び出します。

(1) (ABC) と入力して、(E) (発行) キーを押します。






次ページへつづく

10. プリセット（登録）の変更（つづき）


③ 品名を変更する

●ここでは、「ローズかつ弁当」を消して「唐揚げ弁当」と入力する手順を説明します。

● キーを押して「ローズかつ弁当」の文字をすべて削除します。

●【P19】の④と同じ要領で、数字・文字キーで、「カラゲベントウ」と入力し、  キーで変換します。

正しく変換できない場合は、 キーで前の画面に戻り、

 キーで区切りを変えながら「唐揚げ弁当」と変換し、

 キーを押して確定します。


 キーを押して次の入力へ進みます。

文 P1	L5 M	か
品名		

文 P1	L5 M	か
品名		
カラゲベントウ		

文 P1	L5 M	か
品名		
唐揚げ弁当		

④ 原材料、製造の入力

●変更しませんので〔価格入力〕画面が表示されるまで、 キーを押します。


⑤ 価格の入力

●ここでは、価格を〔¥1200〕から〔¥800〕に変更します。




   と入力し、 キーを押して確定します。

価 P1	L5 M	
価格		
〔¥800〕		

⑥ 消費期限、会社名、住所、電話番号の入力

●変更しませんので「確認印字？」画面が表示されるまで、 キーを押します。

⑦ 確認印字？

●ここでは、  キーで「いいえ」を選択し、 キーを押して次の入力画面に進みます。

「はい」を選択すると、変更した内容でラベルを1枚発行した後、次の入力画面に進みます。

確認印字？		
いいえ	はい	

⑧ 旧データを上書き？

- ここでは、登録番号を変更しますので、**←** **→** キーで「いいえ」を選択し、**E**_{発行} キーを押します。

旧データを上書き？
いいえ はい

⑨ 新規番号の入力

- 画面には、今回使用した変更前の登録番号 [1] 番が表示されます。

文 P1 L5 M
新規番号 [1]
【L5】
コースかつ弁当

- 変更したデータを登録番号 [2] 番に登録します。

2_{DEF} と入力すると、画面に【未使用】と表示されます。

↓

文 P1 L5 M
新規番号 [2]
【未使用】

- **E**_{発行} キーを押します。

「データ保存終了」と表示され、②の「登録番号」入力画面に戻ります。

↓

文 P1 L5 M
新規番号 [2]
データ保存終了

※このとき表示される登録番号は、今回登録した番号の次の空番号となります。

続けてプリセット（登録）する場合は②～⑧の手順を行って下さい。

↓

■ *フ°リセット登録*
登録番号 [3]
【未使用】

補足

- ⑧で、データを上書きする場合は「はい」を選択します。

※この場合、登録番号 [1] 番の内容が変更され、前のデータは消えてしまいます。

文 P1 L5 M
データ保存終了

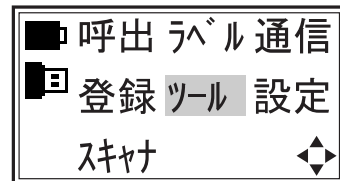
- ⑨で、すでに登録されている番号を入力すると「プリセット番号使用中」と表示され、「新規番号入力」画面に戻ります。空いている番号を入力して下さい。

文 P1 L5 M
新規番号 [1]
【L5】
プリセット番号使用中

11. ツールメニューについて

1. ツールメニューの起動方法

- (1) パワースイッチを押して電源を「オン」にします。
- (2) 初期画面が表示されます。



メインメニュー

- 初期画面が「メインメニュー」の場合：

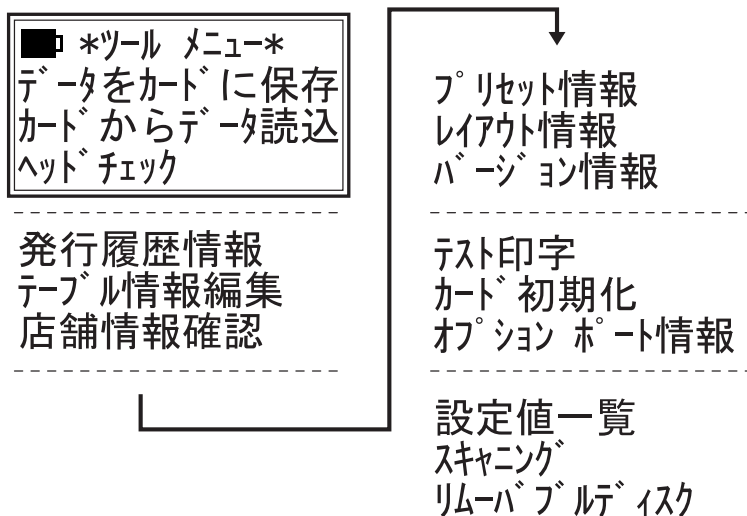
↑ ↓ ← → キーで [ツール] を選択し、**(E 発行)** キーを押します。

- 初期画面が「呼出發行」「プリセット登録」「通信モード」「スキャナモード」の場合：

(F1) キーを押して「メインメニュー」画面を呼び出し、[ツール] を選択します。

2. ツールメニューの項目

- ↑ ↓ キーを押してスクロールさせると隠れている項目が表示されます。



3. 各項目の起動方法

- ↑ ↓ キーで項目を選択し、**(E 発行)** キーで決定、起動します。

4. ツールメニューの終了

- 「ツールメニュー」画面の状態、**(F1)** キーあるいは **(P 初期)** キーを押すと「ツールメニュー」が終了し、「メインメニュー」画面に替わります。

12. データをカードに保存

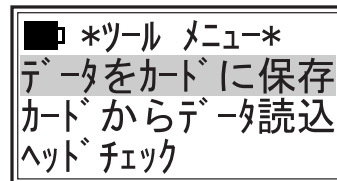
● 本体から指定されたデータ、設定値をカードにコピーします。

■ ツールメニュー【→ P30】の「データをカード保存」を起動します。

■ (↑) (↓) キーを押してスクロールさせると隠れている項目が表示されます。

● 「CFカード」を本体に挿入して下さい。

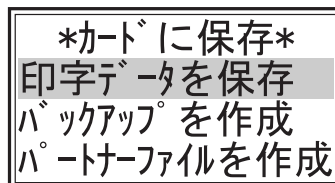
カードの挿入方法は、別冊『本体編』をご覧ください。



ツールメニュー
データをカードに保存
カードからデータ読込
ヘッドチェック

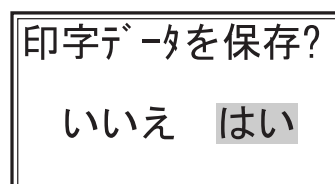
1. 印字データ（登録データ）をカードに保存（コピー）

1. (↑) (↓) キーで「印字データを保存」を選択し、(E発行) キーを押します。



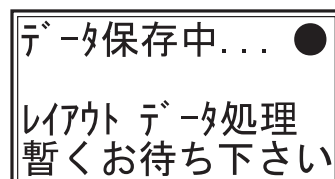
カードに保存
印字データを保存
バックアップを作成
パートナーファイルを作成

2. (↑) (↓) キーで「はい」を選択し、(E発行) キーを押します。



印字データを保存?
いいえ はい


3. 「データ保存中…」と表示して、本体からカードへプリセット（登録）データの保存（コピー）を開始します。



データ保存中... ●
レイアウトデータ処理
暫くお待ち下さい

保存中は、「レイアウトデータ処理」「ラベルデータ処理」「プリセットデータ処理」と表示が切り替わっていきます。

4. 保存が終わると、「データ保存終了」と表示され、「カードに保存」画面に戻ります。



保存終了

これで本体の印字データ（登録データ）がカードに保存（コピー）されました。

※ 「いいえ」を選択すると、データ保存はキャンセルされて「カードに保存」画面に戻ります。

次ページへつづく

2. バックアップを作成

※バックアップとは、内蔵メモリー内の全てのデータで印字データ、テーブルデータ、設定値を含みます。

■本体の全てのデータをカードにバックアップ（保存）します。

1. (↑) (↓) キーで「バックアップを作成」を選択し、(E 発行) キーを押します。

カードに保存
印字データを保存
バックアップを作成
パートナーファイルを作成

2. (←) (→) キーで「する」を選択し、(E 発行) キーを押します。

バックアップを作成?
しない する

3. 「データ保存中...」と表示して、本体からカードへ、バックアップデータの作成（コピー）を開始します。

データ保存中... ●
EPROMデータ処理
暫くお待ち下さい

保存中は、右のように表示画面が切り替わっていきます。

データ保存中... ●
メモリデータ処理
暫くお待ち下さい

4. 作成が終わると、「バックアップ終了!」と表示され、「カードに保存」画面に戻ります。

バックアップ終了!

これで本体のすべてのデータ、設定値がカードにバックアップ（保存）されました。

※「しない」を選択すると、バックアップはキャンセルされて「カードに保存」画面に戻ります。

3. パートナーファイルを作成

※パートナーファイルを作成とは、アプリケーションソフト『ラベルパートナー For neo』で読み込みできるファイル形式にしたレイアウト、データを直接CFカードに保存する方法です。

■パートナーファイルをCFカードに作成（保存）します。

1. (↑) (↓) キーで「パートナーファイルを作成」を選択し、
(E 発行) キーを押します。
2. (←) (→) キーで「する」を選択し、(E 発行) キーを押します。
3. ファイル名を入力します。
「Neo Partner」と表示されますが、変更する事もできます。
ここでは、一部利用し、「Neo Partner 1」と入力します。
(→) キーで、カーソルを文字の右横に移動します。
(F4) キーを押して、画面右上を「数」にし、(1 ABC ア) と入力して、(E 発行) キーを押します。
4. (E 発行) キーを押すと、保存を開始します。
保存中は、「レイアウト保存中・・・」と表示し、作成が終わると、「保存終了」と表示され、「カードに保存」画面に戻ります。
これでパートナーファイルがカードに作成（保存）されました。

カードに保存
印字データを保存
バックアップを作成
パートナーファイルを作成

パートナーファイルを作成?
しない する

*カードに保存*数
ファイル名入力:
NeoPartner1

カードに保存
レイアウト保存中・・・
保存終了

※「しない」を選択すると、データ保存はキャンセルされて「カードに保存」画面に戻ります。

補足

ファイル名が重複している場合、右のように表示されます。

「はい」を選択すると上書き保存されます。

「いいえ」を選択すると「ファイル名入力」画面に戻ります。

- ファイル名をつけて保存する事で複数のデータファイルをCFカードに保存する事ができます。

注) ファイル名は、32バイト全角文字で16文字となります。

ファイルが既に存在します、上書き?
いいえ はい

次ページへつづく

4. CSV でプリセット保存

※ CSV ファイル (Comma Separated Values) とは、データをカンマで区切って並べたファイル形式であり、プリセットデータをパソコンで直接読み込むための形式です。

- ① ② キーで「CSV でプリセット保存」を選択し、
E
発行 キーを押します。

カードに保存
バックアップを作成
パートナーファイルを作成
CSVでプリセット保存

4-1. 指定レイアウトのデータを保存

※ 指定されたレイアウトに基づく全データとなります。

1. ① ② キーで「指定レイアウトのデータ」を選択し、
E
発行 キーを押します。

カードに保存
指定レイアウトのデータ
全プリセットを保存

2. 指定するレイアウト番号を入力します。
ここでは、「5」番のレイアウトを指定します。
5^{MN} と入力し、E
発行 キーを押します。

カードに保存
レイアウト番号 [5]

3. ファイル名を入力します。
「Neo Preset」と表示されますが、変更することもできます。
ここでは、一部利用し、「Neo Preset 1」と入力します。

*カードに保存*数
ファイル名入力:
NeoPreset1

- キーで、カーソルを文字の右横に移動します。
F4 キーを押して、画面右上を「数」にし、1^{ABC}
と入力し、E
発行 キーを押します。

カードに保存 ●
プリセットデータ処理
暫くお待ち下さい

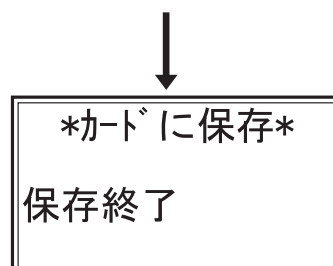
4. E
発行 キーを押すと、保存を開始します。
保存中は、「プリセットデータ処理」と表示され、続いて
「保存プリセット件数」画面を表示します。

カードに保存
保存プリセット件数:
15

次へつづく

5. 保存が終わると、「保存終了」と表示され、「指定レイアウトのデータ」画面に戻ります。

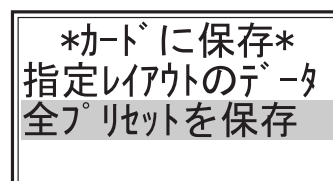
これで本体の指定されたレイアウトの全データがカードに保存（コピー）されました。



4-2. 全プリセットを保存

※本体に登録（プリセット）された全てのデータを保存します。

1. (↑) (↓) キーで「全プリセットを保存」を選択し、(E 発行) キーを押します。

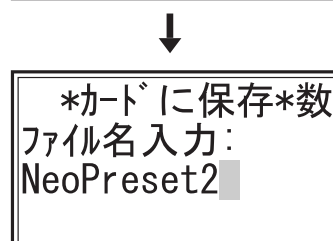


2. ファイル名を入力します。

「Neo Preset」と表示されますが、変更する事もできます。ここでは、一部利用し、「Neo Preset 2」と入力します。

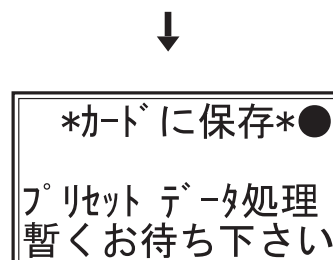
(→) キーで、カーソルを文字の右横に移動します。

(F4) キーを押して、画面右上を「数」にし、(2 DEF 力) と入力し、(E 発行) キーを押します。



3. (E 発行) キーを押すと、保存を開始します。

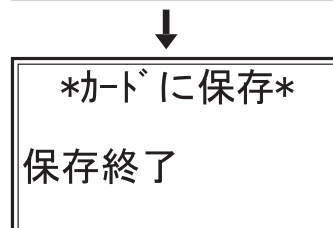
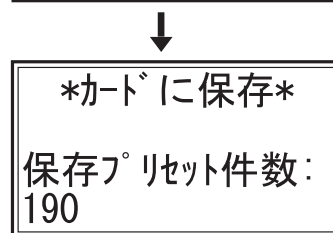
保存中は、「プリセットデータ処理」と表示され、続いて「保存プリセット件数」画面を表示します。



4. 保存が終わると、「保存終了」と表示され、「全プリセットを保存」画面に戻ります。

これで本体の全レイアウトデータがカードに保存（コピー）されました。

(P 初期) キーを押すと「カードに保存」画面に戻ります。



5. テーブルデータを保存

- (↑) (↓) キーで「テーブルデータを保存」を選択し、
(E 発行) キーを押します。

カードに保存
パートナーファイルを作成
CSVでプリセット保存
テーブルデータを保存

5-1. コードテーブルを保存

1. (↑) (↓) キーで「コードテーブル」を選択し、(E 発行) キーを押します。

テーブル保存
コードテーブル
材料テーブル
リサイクルテーブル

2. (←) (→) キーで「はい」を選択し、(E 発行) キーを押します。

保存?
いいえ はい

3. 保存中は、「コードテーブル」と表示されます。

●
コードテーブル
暫くお待ち下さい




4. 保存が終わると、「保存終了」と表示され、「テーブル保存」画面に戻ります。




保存終了

これで本体のコードテーブルデータがカードに保存（コピー）されました。

※ 「いいえ」を選択すると、データ保存はキャンセルされて「テーブル保存」画面に戻ります。

5-2. 材料テーブルを保存

1.   キーで「材料テーブル」を選択し、 キーを押します。

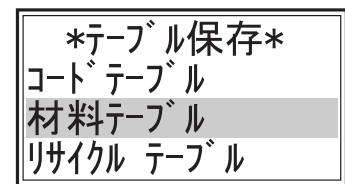
2.   キーで「はい」を選択し、 キーを押します。

3. 保存中は、「材料テーブル」と表示されます。

4. 保存が終わると、「保存終了」と表示され、「テーブル保存」画面に戻ります。

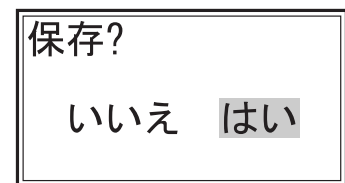
これで本体の材料テーブルデータがカードに保存（コピー）されました。

※ 「いいえ」を選択すると、データ保存はキャンセルされて「テーブル保存」画面に戻ります。



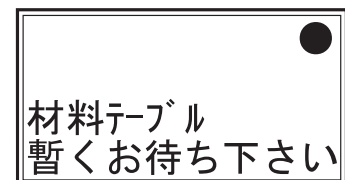
テーブル保存

コードテーブル
材料テーブル
リサイクルテーブル

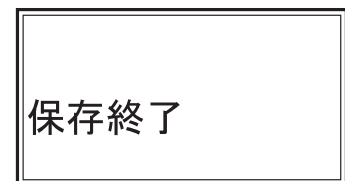


保存?

いいえ	はい
-----	----






材料テーブル
暫くお待ち下さい






保存終了

12. データをカードに保存 (つづき)

5-3. リサイクルテーブルを保存

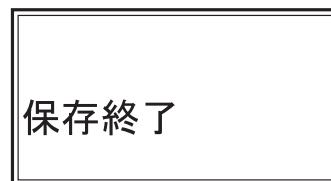
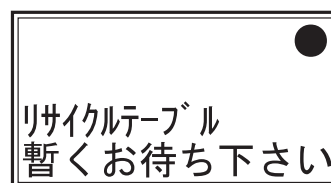
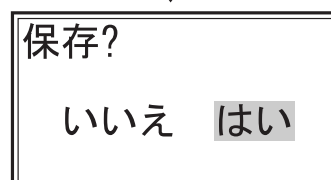
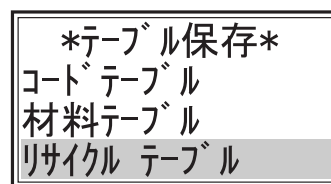
1.   キーで「リサイクルテーブル」を選択し、
 キーを押します。

2.   キーで「はい」を選択し、 キーを押します。


3. 保存中は、「リサイクルテーブル」と表示されます。

4. 保存が終わると、「保存終了」と表示され、「テーブル保存」画面に戻ります。

これで本体のリサイクルテーブルデータがカードに保存
(コピー) されました。



※ 「いいえ」を選択すると、データ保存はキャンセルされて「テーブル保存」画面に戻ります。

 キーを押すと「カードに保存」画面に戻ります。

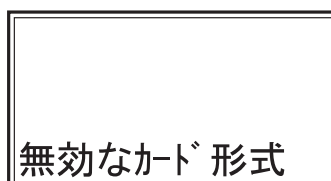
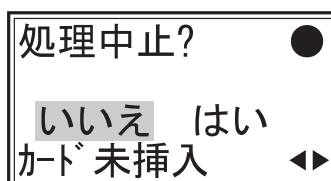
補足

● カードを本体に挿入していない場合や、奥までしっかりと差し込まれていない状態で、保存「する」やバックアップ作成「する」を選択すると、画面に「処理中止?」と表示します。

カードの挿入を確認（奥まで挿す）して「いいえ」を選択し、 キーを押すと保存（作成）されます。

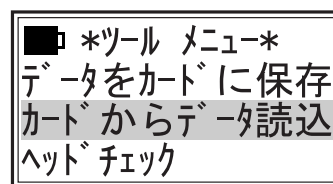
● カードの形式が違くと「無効なカード形式」と表示して、「カードに保存」画面に戻ります。

※必ず、メーカー指定のCFカードをご使用下さい。



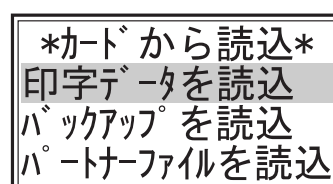
13. カードからデータを読み込

- カードから指定のデータを本体に読み込（コピー）します。
- ツールメニュー【→ P30】の「カードからデータ読み込」を起動します。
- ↑****↓** キーを押してスクロールさせると隠れている項目が表示されます。
- 「CF カード」を本体に挿入して下さい。

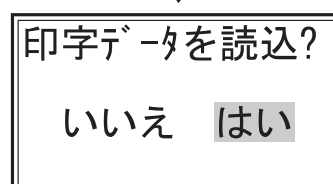


1. 印字データ（登録データ）をカードから本体に読み込（登録）

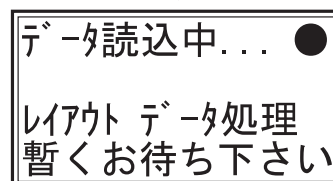
1. **↑****↓** キーで「印字データを読み込」を選択し、**E**（発行）キーを押します。



2. **←****→** キーで「はい」を選択し、**E**（発行）キーを押します。



3. 「データ読み込中...」と表示して、カードから、本体へプリセット（登録）データの読み込（コピー）を開始します。



注）本体に既に登録されているデータは「削除」され、カードのデータに更新されます。

読み込中は、「レイアウトデータ処理」「ラベルデータ処理」「プリセットデータ処理」と表示が切り替わっていきます。

4. 読み込が終わると、「読み込終了」と表示され、「カードから読み込」画面に戻ります。



これでカードの印字データ（登録データ）が本体に読み込（登録）されました。

※ 「いいえ」を選択すると、データ読み込はキャンセルされて「カードから読み込」画面に戻ります。

2. バックアップをカードから本体に読込 (登録)

■カードのバックアップを本体に読込 (登録) します。

1. (↑) (↓) キーで「バックアップを読込」を選択し、(E発行) キーを押します。

カードから読込
印字データを読込
バックアップを読込
パートナーファイルを読込

2. (←) (→) キーで「する」を選択し、(E発行) キーを押します。

バックアップ時に復元?
しない する

3. 「データ復元中・・・」と表示されます。

データ復元中・・・

4. 「データ読込中・・・」と表示して、カードから、本体へバックアップの読込 (登録) を開始します。

データ読込中... ●
EPROMデータ処理
暫くお待ち下さい

注) 本体の全てのデータ、設定値が「削除」され、カードのデータに更新されます。

処理中は、右のように表示画面が切り替わっていきます。

データ読込中... ●
メモリデータ処理
暫くお待ち下さい

5. 読込が終わると、「任意キーで再起動」と表示されます。
どれか任意のキーを押すと、本体が再起動して「初期画面」を表示します。

任意キーで再起動

これでカードにバックアップされているデータ、設定値が本体に復元 (登録) されました。

※ 「しない」を選択すると、データ読込はキャンセルされて「カードから読込」画面に戻ります。

3. パートナーファイルをカードから本体に読込（登録）

※パートナーファイルを読込とは、『ラベルパートナー For neo』で読み込みできるファイル形式にしたレイアウト、プリセットデータをCFカードから読み込む方法です。

■パートナーファイルを本体に読込（登録）します。

1. (↑) (↓) キーで「パートナーファイルを読込」を選択し、
(E発行) キーを押します。
2. (↑) (↓) キーで「全データ読込」と「店舗情報以外読込」の
どちらかを選択し、(E発行) キーを押します。
3. 複数のパートナーファイルがカードに保存されている場合
は、ファイル名が表示されます。
ここでは、(↑) (↓) キーで「Neo Partner 1」を選択し、
(E発行) キーを押します。
4. (←) (→) キーで「する」を選択し、(E発行) キーを押します。
5. 「古いデータ削除中…」と表示した後、「レイアウト読込
中…」と表示して、カードから本体へパートナーファイル
の読込（コピー）を開始します。
6. 読込が終わると、「読込終了」と表示され、「カードから読
込」画面に戻ります。

これでカードのパートナーファイルが本体に読込（登録）
されました。

※「しない」を選択すると、データ読込はキャンセルされて
「カードから読込」画面に戻ります。

補足

パソコンから直接CFカードに保存されたパートナーファ
イルのファイル名が32バイト（全角16文字）を超えてい
る場合は、複数のデータファイルがCFカードに登録され
ても読み込む事ができません。

カードから読込
印字データを読込
バックアップを読込
パートナーファイルを読込



カードから読込
全データ読込
店舗情報以外読込



c:¥
NeoPartner.nff
NeoPartner1.nff



パートナーファイルを読込
?
しない する



カードから読込
古いデータ削除中…



カードから読込 ●
レイアウト読込中…



カードから読込
レイアウト読込中
読込終了

次ページへつづく

4. 店舗情報をカードから本体に読込 (登録)

1. **↑** **↓** キーで「店舗情報をコピー」を選択し、**E** 発行 キーを押します。

※カードに店舗情報が入っていない場合は、読込できません。

2. ここでは、店番「22」を使用します。

2 DEF **2** DEF と入力し、**E** 発行 キーで確定します。

3. **E** 発行 キーを押します。

「テーブルファイル検索…」と表示されます。

4. 検索後、内容が表示されます。

内容確認後、**E** 発行 キーを押します。

5. **←** **→** キーで「はい」を選択し、**E** 発行 キーを押します。

6. 読込が終わると、「店舗情報取得成功」と表示され、「カードから読込」画面に戻ります。

これでカードの店舗情報が本体に読込 (コピー) されました。

※「いいえ」を選択すると、データ読込はキャンセルされて「カードから読込」画面に戻ります。

補足

上記の2で、カードに登録されていない店番を入力すると「店舗情報取得失敗」と表示され、「店番」入力画面に戻ります。正しい店番を入力して下さい。

カードから読込
バックアップを読込
パートナーファイルを読込
店舗情報をコピー



店番 数
22



店番 数
テーブルファイル検索...



22
株式会社 新盛イ
東京都北区堀船4
責任者名 新盛



コピーしますか?
いいえ はい



店舗情報取得成功



店舗情報取得失敗

5. テーブルデータをカードから本体に読込（登録）

- ① ② キーで「テーブルデータを読込」を選択し、
E
発行 キーを押します。

カードから読込
パートナーファイルを読込
店舗情報をコピー
テーブルデータを読込

5-1. コードテーブルを読込

1. ① ② キーで「コードテーブル」を選択し、E
発行 キーを押します。
2. ← → キーで「はい」を選択し、E
発行 キーを押します。

テーブル読込
コードテーブル
材料テーブル
リサイクルテーブル



読込?
いいえ はい



3. 読込中は、「コードテーブル」と表示されます。

●
コードテーブル
暫くお待ち下さい



4. 読込が終わると、「読込終了」と表示され、「テーブル読込」画面に戻ります。




読込終了




これでカードのコードテーブルデータが本体に読込
(登録) されました。

※ 「いいえ」を選択すると、データ読込はキャンセルされて「テーブル読込」画面に戻ります。

13. カードからデータ読込 (つづき)

5-2. 材料テーブルを読込

1.   キーで「材料テーブル」を選択し、 キーを押します。

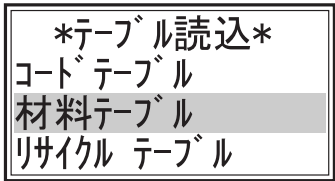
2.   キーで「はい」を選択し、 キーを押します。

3. 読込中は、「材料テーブル」と表示されます。

4. 読込が終わると、「読込終了」と表示され、「テーブル読込」画面に戻ります。

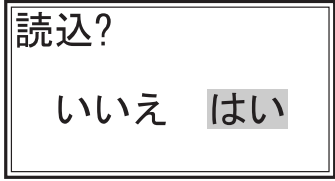
これでカードの材料テーブルデータが本体に読込（登録）されました。

※ 「いいえ」を選択すると、データ読込はキャンセルされて「テーブル読込」画面に戻ります。




テーブル読込

コードテーブル
材料テーブル
リサイクルテーブル



読込?

いいえ はい



材料テーブル
暫くお待ち下さい



読込終了

5-3. リサイクルテーブルを讀込

1. (↑) (↓) キーで「リサイクルテーブル」を選択し、

(E 発行) キーを押します。

テーブル讀込
コードテーブル
材料テーブル
リサイクルテーブル

2. (←) (→) キーで「はい」を選択し、(E 発行) キーを押します。

保存?
いいえ はい

3. 讀込中は、「リサイクルテーブル」と表示されます。

リサイクルテーブル
暫くお待ち下さい

4. 讀込が終わると、「讀込終了」と表示され、「テーブル讀込」画面に戻ります。

讀込終了

これでカードのリサイクルテーブルデータが本体に讀込
(登録) されました。

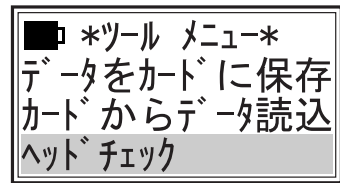
※ 「いいえ」を選択すると、データ保存はキャンセルされて「テーブル讀込」画面に戻ります。

(P 初期) キーを押すと「カードから讀込」画面に戻ります。

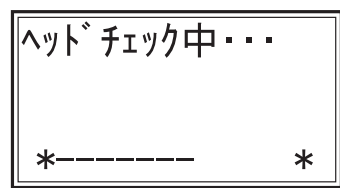
14. ヘッドチェック

■ ツールメニュー【→ P30】の「ヘッドチェック」を起動します。

■ (↑) (↓) キーを押してスクロールさせると隠れている項目が表示されます。



1. 画面に「ヘッドチェック中・・・」と表示され、IC異常や断線がないか、サーマル（印字）ヘッドのチェックを開始します。（ヘッドチェックには、数秒かかります。）



2. チェックが終了すると「ヘッドチェック結果：」が表示されます。「正常」を確認して下さい。



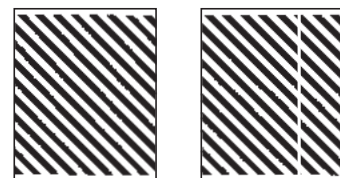
3. (E発行) キーか (P初期) キーを押すと「ツールメニュー」画面に戻ります。

⚠ 注意：

● 「ヘッドチェック結果：」画面に「断線」と表示された場合、サーマル（印字）ヘッドの劣化が考えられます。



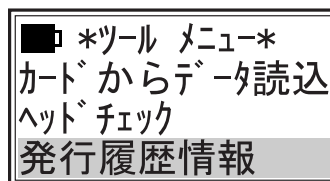
● すぐにテスト印字を行って下さい。（テスト印字方法は、項目21「テスト印字」をご覧ください。）
※ヘッドチェックは目安です。「ヘッド切れ」と表示した場合でも、テスト印字が正常だったり、テスト印字が異常でも「ヘッド切れ」を表示しない場合があります。その場合は、テスト印字を優先して下さい。



※異常パターンが印字された場合は、すぐに使用を中止し、大至急、お買い上げいただいた販売店かメーカーにサービスコールをして下さい。

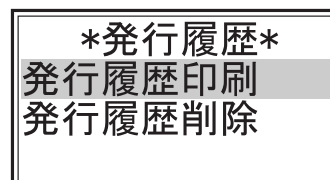
15. 発行履歴情報

- ツールメニュー【→ P30】の「発行履歴情報」を起動します。
- (↑) (↓) キーを押してスクロールさせると隠れている項目が表示されます。

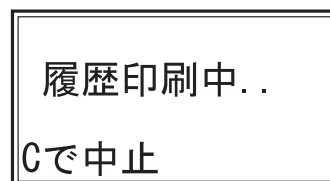


1. 発行履歴印刷

1. (↑) (↓) キーで「発行履歴印刷」を選択し、(E 発行) キーを押します。

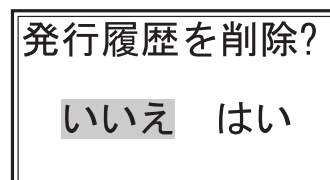


2. 発行履歴印刷を開始します。
印刷中は「履歴印刷中..」と表示されます。



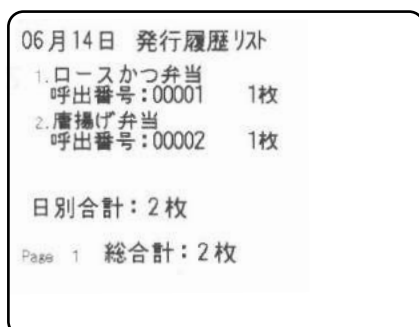
※印刷を途中で止める場合は、(C クリア) キーを押します。

3. 印刷が終わると、「発行履歴を削除?」と表示されます。
(←) (→) キーで「いいえ」を選択し、(E 発行) キーを押します。



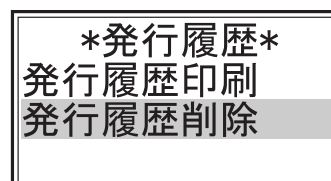
※「はい」を選択すると、「発行履歴」が削除されます。
【次ページ参照】

発行履歴サンプル

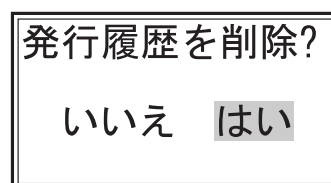


2. 発行履歴削除

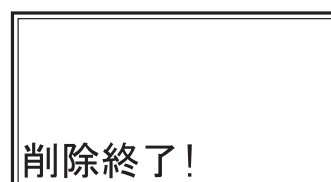
1. **↑** **↓** キーで「発行履歴削除」を選択し、**E**_{発行} キーを押します。



2. **←** **→** キーで「はい」を選択し、**E**_{発行} キーを押します。



3. 削除が終わると、「削除終了!」と表示されます。



※「いいえ」を選択すると、削除されずに「発行履歴」画面に戻ります。

補足

●「メンテメニュー」の「発行履歴設定」で「発行履歴を記録」を「する」を選択し、「最大日数」を設定していないと、発行履歴は記録されません。【→ P111 参照】

●発行履歴がない場合、あるいは「発行履歴設定」を設定していない場合は、「発行履歴なし!」と表示されます。

E_{発行} キーか **P**_{初期} キーを押すと「発行履歴」画面に戻ります。

●削除された履歴情報は、復元させる事はできません。
削除する場合は、ご注意下さい。

発行履歴なし!

16. テーブル情報編集

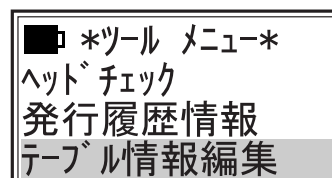
※テーブル情報を編集するためには、事前にプリンタ本体に編集するテーブル項目が登録されている事が必要となります。

※テーブル情報とレイアウト項目がリンク付けされていない場合は、編集はできますが利用する事はできません。

●テーブル情報の作成、リンク付けは、付属CDの『ラベルパートナー For neo』の取扱説明書をご参照下さい。

■ ツールメニュー【→ P30】の「テーブル情報編集」を起動します。

■ (↑) (↓) キーを押してスクロールさせると隠れているテーブル情報編集項目が表示されますので、選択し (E 発行) キーを押します。



1. 産地コード表（テーブル）の情報編集

(↑) (↓) キーで「産地コード表（テーブル）」を選択し、
(E 発行) キーを押します。

※テーブル作成時のテーブル名が表示されます。

1-1. 産地コード表（テーブル）の新規登録

■ここでは、産地コード「50」番に、産地名「フィリピン」と登録します。

1. (↑) (↓) キーで「新規登録」を選択し、(E 発行) キーを押します。

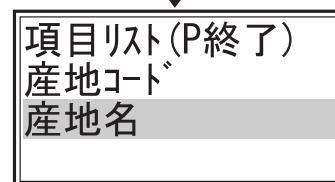
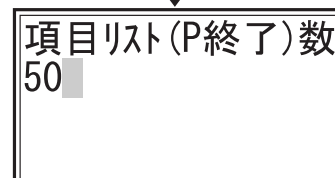
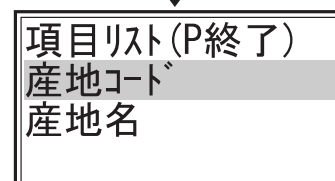
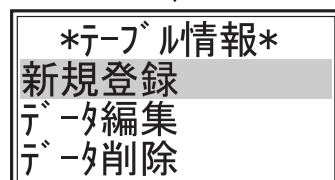
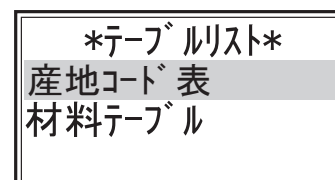
2. (↑) (↓) キーで「産地コード」を選択し、(E 発行) キーを押します。

※表示されている産地コード、産地名は標準テーブルを利用し、フィールドタイプの名称を変更した結果を表示します。

3. 数字キーで「50」と入力し、(E 発行) キーで確定します。

4. もう一度 (E 発行) キーを押します。

5. (↑) (↓) キーで「産地名」を選択し、(E 発行) キーを押します。



次へつづく

次ページへつづく

16. テーブル情報編集 (つづき)

6. (F4) キーを押して、画面右上を「か」にし、数字・文字キーで「フィリピン」と入力し、(↑) (↓) キーで全角の「フィリピン」に変換して (E発行) キーで確定します。

項目リスト(P終了)か
フィリピン

7. もう一度 (E発行) キーを押すと「項目リスト」画面に戻ります。複数の「新規登録」をする場合は、「産地コード」と「産地名」の入力を続けて下さい。

項目リスト(P終了)
産地コード
産地名

8. (P初期) キーを押すと「新規追加?」と表示されます。
(←) (→) キーで「はい」を選択し、(E発行) キーを押します。

新規追加?
いいえ はい

9. 登録が終わると、「保存しました」と表示され、項目1の「テーブル情報」画面に戻ります。

保存しました

※ 「いいえ」を選択すると、入力した情報は登録されずに項目1の「テーブル情報」画面に戻ります。

補足

「コード番号」の入力で、すでに登録されている番号を入力した場合、右の画面が表示されます。

「いいえ」を選択すると、「コード番号」入力画面に戻ります。

「はい」を選択すると、「項目リスト」画面に戻ります。

キー項目重複!中止?
いいえ はい

※ 「新規登録」の項目では、すでに登録されている「産地コード」や「産地名」を修正・変更する事はできません。次ページの「データ編集」で行って下さい。

1-2. 産地コード表（テーブル）のデータ編集

■ここでは、産地コード「50」番に登録されている産地名「フィリピン」を「フィリピン産」に修正します。

1. (↑) (↓) キーで「データ編集」を選択し、(E 発行) キーを押します。
2. 「キー項目」入力画面で、数字キーで「50」と入力し、(E 発行) キーを押します。
3. (↑) (↓) キーで「産地名」を選択し、(E 発行) キーを押します。
(ここでは、産地コードの変更はしません。)
4. (→) キーでカーソルを文字の右横に移動します。
(F4) キーを押して、画面右上を「か」にし、数字・文字キーで「か」と入力し、(↑) (↓) キーで「産」に変換して (E 発行) キーで確定します。
5. もう一度 (E 発行) キーを押すと「項目リスト」画面に戻ります。
複数の「データ編集」をする場合は、「産地コード」と「産地名」の編集を続けて下さい。
6. (P 初期) キーを押すと「変更を保存？」と表示されます。
(←) (→) キーで「はい」を選択し、(E 発行) キーを押します。

※産地コード「50」番の内容が変更され、前のデータは消えてしまいます。

7. 登録が終わると、「保存しました」と表示され、「テーブル情報」画面に戻ります。

※「いいえ」を選択すると、変更されずに「テーブル情報」画面に戻ります。

テーブル情報

新規登録
データ編集
データ削除



テーブル情報

キー項目入力:
[50]
フィリピン



項目リスト(P終了)

産地コード
産地名



項目リスト(P終了)か

フィリピン産



項目リスト(P終了)

産地コード
産地名



変更を保存?

いいえ はい



保存しました

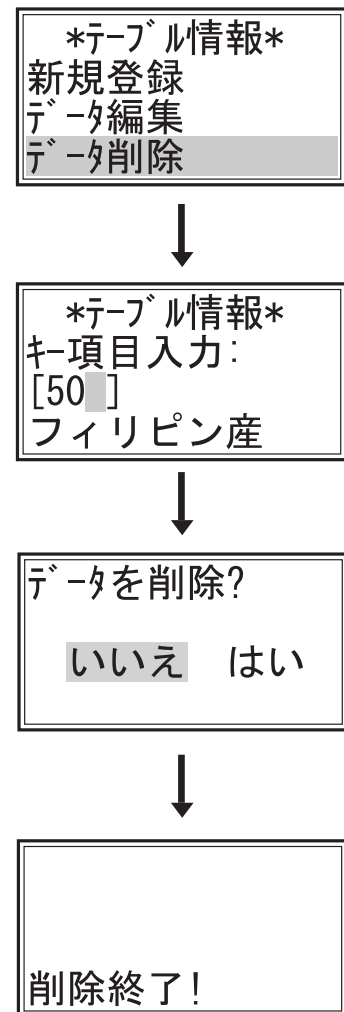
次ページへつづく

16. テーブル情報編集 (つづき)

1-3. 産地コード表 (テーブル) のデータ削除

■ここでは、産地コード「50」番を削除します。

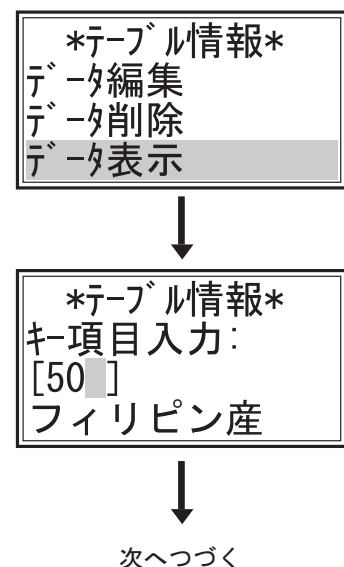
1. (↑) (↓) キーで「データ削除」を選択し、(E 発行) キーを押します。
 2. 「キー項目」入力画面で、数字キーで「50」と入力し、(E 発行) キーを押します。
 3. 「データを削除？」と表示されます。
(←) (→) キーで「はい」を選択し、(E 発行) キーを押します。
 4. 削除が終わると、「削除終了！」と表示され、「テーブル情報」画面に戻ります。
- ※「いいえ」を選択すると、削除されずに「テーブル情報」画面に戻ります。



1-4. 産地コード表 (テーブル) のデータ表示

■ここでは、産地コード「50」番の「産地コード」「産地名」を確認します。

1. (↑) (↓) キーで「データ表示」を選択し、(E 発行) キーを押します。
2. 「キー項目」入力画面で、数字キーで「50」と入力し、(E 発行) キーを押します。



3. (↑) (↓) キーで「産地コード」を選択し、(E 発行) キーを押します。

4. 産地コードの番号「50」が表示されます。
任意のキーを押すと「テーブル内容」画面に戻ります。

5. (↑) (↓) キーで「産地名」を選択し、(E 発行) キーを押します。

6. 産地名「フィリピン」が表示されます。
任意のキーを押すと「テーブル内容」画面に戻ります。

7. (P 初期) キーを押すと「テーブル情報」画面に戻ります。

テーブル内容
産地コード
産地名



50
任意キー戻ります



テーブル内容
産地コード
産地名



フィリピン産
任意キー戻ります

1-5. 産地コード表（テーブル）のテーブル情報

1. (↑) (↓) キーで「テーブル情報」を選択し、(E 発行) キーを押します。

2. 「コードテーブル」の内容が表示されます。

※ 「番号：」は、テーブル番号

「件数：」は、テーブル内データ件数

「種類：」の「W」は、変更可能データ

「R」は、読み取り専用データ

「日付：」は、テーブル作成日 を示します。

3. (E 発行) キーか (P 初期) キーを押すと「テーブル情報」画面に戻ります。


テーブル情報
データ削除
データ表示
テーブル情報



コードテーブル
番号:3 件数:50
種類:Wコードテーブル
日付:08.03.01


次ページへつづく




2. 材料テーブルの情報編集


⬆ ⬇ キーで「材料テーブル」を選択し、 キーを押します。

2-1. 材料テーブルの新規登録


■ここでは、「あ」の発音で「アスパラ」、
「こ」の発音で「ご飯」と登録します。


1. ⬆ ⬇ キーで「新規登録」を選択し、 キーを押します。

2.  キーを押して、画面右上を「か」にし、 キーで「ア」と入力し、 キーで確定します。



3. もう一度  キーを押します。


4. 数字・文字キーで「アスパラ」と入力し、⬆ ⬇ キーで全角の「アスパラ」に変換して  キーで確定します。

5. もう一度  キーを押します。

6. ⬅ ➡ キーで「登録」を選択し、 キーを押します。

これで「あ」の発音に「アスパラ」が登録されました。

7. 「発音入力:」画面に戻りますので、続けて  キーで「こ」と入力し、 キーで確定します。

8. もう一度  キーを押します。

テーブルリスト
コードテーブル
材料テーブル



テーブル情報
新規登録
データ編集
データ削除



新規登録 か
発音入力:
ア



新規登録 か
登録データ:
アスパラ



あ
アスパラ
修正 登録



新規登録 か
発音入力:
こ



次へつづく

9. 数字・文字キーで「ゴハ」を入力し、**↑** **↓** キーで全角の「ご飯」に変換して **E**_{発行} キーで確定します。

10. もう一度 **E**_{発行} キーを押します。

11. **←** **→** キーで「登録」を選択し、**E**_{発行} キーを押します。
これで「こ」の発音に「ご飯」が登録されました。

12. 「発音入力：」画面に戻ります。
■ここで「新規登録」の入力を終わりにします。

13. **P**_{初期} キーを押します。

14. 「入力中止？」と表示されます。
← **→** キーで「はい」を選択し、**E**_{発行} キーを押すと、
「テーブル情報」画面に戻ります。

新規登録 加
登録データ:
こ
ご飯



こ
ご飯
修正 登録



新規登録 加
発音入力:
■



入力中止?
いいえ はい

※ 「いいえ」を選択すると、「発音入力：」画面に戻り、「新規登録」を続ける事ができます。

補足

前ページ6 と上記 11 で「修正」を選択すると、登録されずに「発音入力：」画面に戻ります。
ここから入力し直して下さい。

16. テーブル情報編集 (つづき)

2-2. 材料テーブルのデータ編集

■ここでは、「あ」に登録した「アスパラ」を「アスパラガス」に変更します。

1. (↑) (↓) キーで「データ編集」を選択し、(E 発行) キーを押します。
2. (F4) キーを押して、画面右上を「か」にし、(1 ABC ア) キーで「ア」と入力し、(E 発行) キーで確定します。
3. もう一度 (E 発行) キーを押します。
4. 「あ」に登録されている他の材料が表示された場合は、(↑) (↓) キーでスクロールして「アスパラ」を表示させて (E 発行) キーを押します。
5. (→) キーでカーソルを文字の右横に移動します。
数字・文字キーで「ガス」と入力し、(↑) (↓) キーで「ガス」に変換して (E 発行) キーで確定します。
6. もう一度キーを押します。
7. (←) (→) キーで「上書」を選択し、(E 発行) キーを押します。
これで「アスパラ」が「アスパラガス」に変更されました。
※「新規」を選択すると、「アスパラガス」が「新規登録」され、変更前の「アスパラ」も登録されたまま残ります。
8. 「発音入力：」画面に戻ります。
■ここで「データ編集」の入力を終わりにします。
9. (P 初期) キーを押します。
10. 「入力中止？」と表示されます。
(←) (→) キーで「はい」を選択し、(E 発行) キーを押すと、「テーブル情報」画面に戻ります。
※「いいえ」を選択すると、「発音入力：」画面に戻り、「データ編集」を続ける事ができます。

テーブル情報
新規登録
データ編集
データ削除

データ編集 か
発音入力:
ア

データ編集
↑↓で項目スクロール
アスパラ

データ編集 か
編集データ:
アスパラガス

あ
アスパラガス
上書 新規

データ編集 か
発音入力:

入力中止?
いいえ はい

2-3. 材料テーブルのデータ削除

■ここでは、「こ」に登録した「ご飯」を削除します。

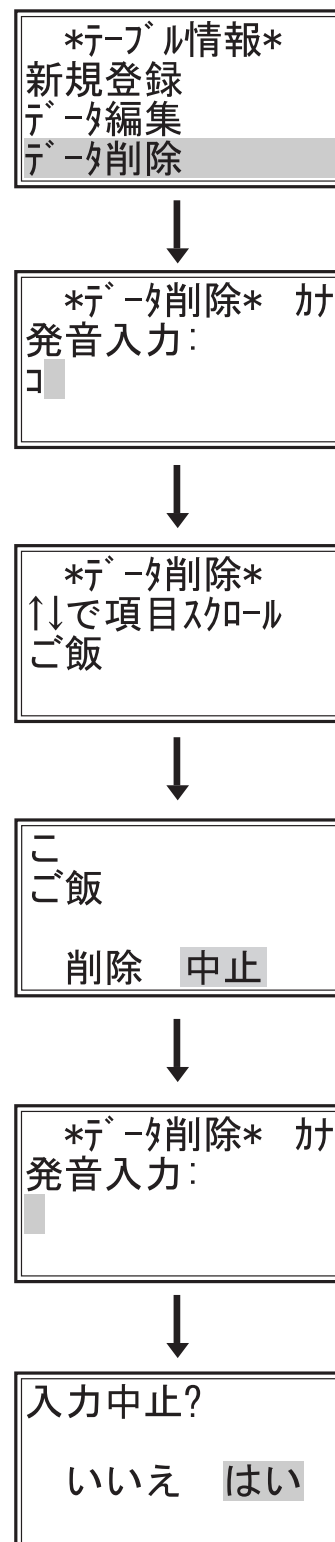
1. (↑) (↓) キーで「データ削除」を選択し、(E 発行) キーを押します。
2. (F4) キーを押して、画面右上を「か」にし、(2^{DEF}) キーで「コ」と入力し、(E 発行) キーで確定します。
3. もう一度 (E 発行) キーを押します。
4. 「こ」に登録されている他の材料が表示された場合は、(↑) (↓) キーでスクロールして「ご飯」を表示させて (E 発行) キーを押します。
5. (←) (→) キーで「削除」を選択し、(E 発行) キーを押します。
これで「こ」の発音から「ご飯」が削除されました。

※「中止」を選択すると、削除されません。

6. 「発音入力：」画面に戻ります。

■ここで「データ削除」を終わりにします。

7. (P 初期) キーを押します。
8. 「入力中止？」と表示されます。
(←) (→) キーで「はい」を選択し、(E 発行) キーを押すと、
「テーブル情報」画面に戻ります。



※「いいえ」を選択すると、「発音入力：」画面に戻り「データ削除」を続ける事ができます。

次ページへつづく

16. テーブル情報編集 (つづき)

2-4. 材料テーブルのデータ表示

■ここでは、「あ」と「こ」に登録したデータを確認します。

1. (↑) (↓) キーで「データ表示」を選択し、(E発行) キーを押します。

テーブル情報
データ編集
データ削除
データ表示

2. (F4) キーを押して、画面右上を「か」にし、(1ABCア) キーで「ア」と入力し、(E発行) キーで確定します。

データ表示 か
発音入力:
ア

3. もう一度 (E発行) キーを押します。

4. 「あ」に登録されているデータの1つが表示されます。
(↑) (↓) キーでスクロールすると「あ」に登録されているデータを順番に確認することができます。

発音:あ
アスパラガス

5. 確認後、(E発行) キーを押します。

スクロールしてデータ確認

6. 「発音入力:」画面に戻りますので、(2DEFカ) キーで「カ」と入力し、(E発行) キーで確定します。

データ表示 か
発音入力:
カ

7. もう一度 (E発行) キーを押します。

8. 「こ」に登録されているデータの1つが表示されます。
(↑) (↓) キーでスクロールすると「こ」に登録されているデータを順番に確認することができます。

発音:こ
ご飯

■ここで「データ表示」を終わりにします。

スクロールしてデータ確認

9. (P初期) キーを押します。

10. 「入力中止?」と表示されます。

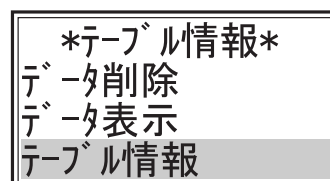
(←) (→) キーで「はい」を選択し、(E発行) キーを押すと、「テーブル情報」画面に戻ります。

入力中止?
いいえ はい

※「いいえ」を選択すると、前の画面に戻り「データ表示」を続けることができます。

2-5. 材料テーブルのテーブル情報

1. (↑) (↓) キーで「テーブル情報」を選択し、(E発行) キーを押します。



2. 「材料テーブル」の内容が表示されます。

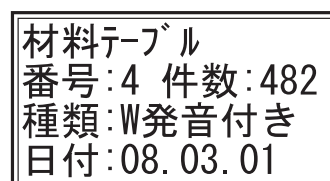
※ 「番号：」は、テーブル番号

「件数：」は、テーブル内データ件数

「種類：」の「W」は、変更可能データ

「R」は、読み取り専用データ

「日付：」は、テーブル作成日 を示します。



3. (E発行) キーか (P初期) キーを押すと「テーブル情報」画面に戻ります。

補足

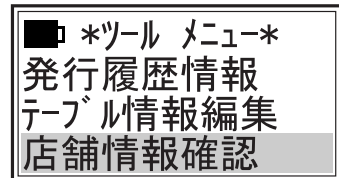
- 「データ編集」「データ削除」「データ表示」の際に、「発音入力：」画面で、登録していない「発音」文字を入力すると「同発音データ無し」と表示して「発音入力：」画面に戻ります。正しい「発音」文字を入力しなおして下さい。



17. 店舗情報確認

- 店舗情報を確認するためには、事前にプリンタ本体に店舗情報のテーブル項目が登録されている必要があります。このテーブル項目とレイアウト項目がリンク付けされていない場合は、確認、変更はできますが、利用する事はできません。
- テーブル情報（店舗情報）の作成、リンク付けは、付属のCD『ラベルパートナー For neo』の取扱説明書をご参照下さい。

■ ツールメニュー【→ P30】の「店舗情報確認」を起動します。



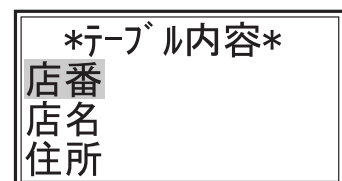
■ (↑) (↓) キーを押してスクロールさせると隠れている店舗情報確認項目が表示されます。

- ここでは、店番「22」に 店名「新盛インダストリーズ尾久店」
住所「東京都北区堀船4-12-15」
氏名「責任者 新盛太郎」
電話「03-3913-0131」
が入っていることを前提として確認します。

※店舗情報の各内容の確認と各項目の変更ができます。

1. 店番の確認方法

1. (↑) (↓) キーで「店番」を選択し、(E発行) キーを押します。



2. 登録された店番「22」が表示されます。



※店番は、『ラベルパートナー For neo』で作成された店舗情報テーブルと関連付けされた重要なキー項目となりますので、変更はお薦めできません。
確認のみをお薦めします。

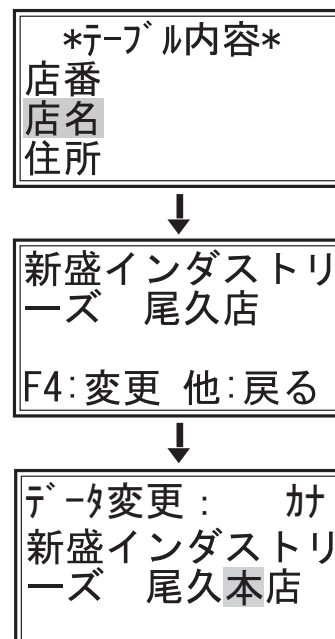
もう一度 (E発行) キーを押すと、「テーブル内容」画面に戻ります。

※ (F1) (F4) 以外のキーを押しても「テーブル内容」画面に戻ります。

2. 店名の確認、変更方法

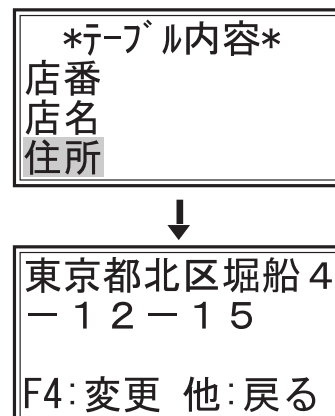
1. (↑) (↓) キーで「店名」を選択し、(E発行) キーを押します。
2. 変更する場合は、(F4) キーを押して編集モードにします。
(←) (→) キーを押して、カーソルを「尾久」と「店」の間に置いてから、(F4) キーを押して画面右上を「か」にし、
(6^{OPQ}ハ) (0⁷⁷⁷) キーで「本」と入力し、(↑) (↓) キーで「本」と変換して (E発行) キーで確定します。
ここでは変更しませんので、(E発行) キーを押します。
「テーブル内容」画面に戻ります。

※ (F1) (F4) 以外のキーを押しても「テーブル内容」画面に戻ります。



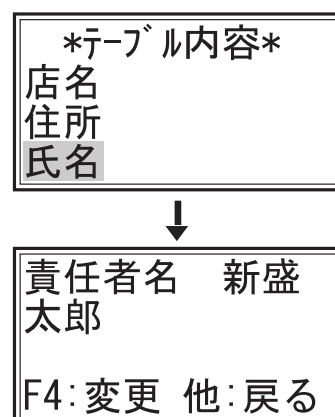
3. 住所の確認、変更

1. (↑) (↓) キーで「住所」を選択し、(E発行) キーを押します。
 2. 変更する場合は、(F4) キーを押します。
ここでは変更しませんので、(E発行) キーを押します。
「テーブル内容」画面に戻ります。
- ※ (F1) (F4) 以外のキーを押しても「テーブル内容」画面に戻ります。



4. 氏名の確認、変更

1. (↑) (↓) キーで「氏名」を選択し、(E発行) キーを押します。
 2. 変更する場合は、(F4) キーを押します。
ここでは変更しませんので、(E発行) キーを押します。
「テーブル内容」画面に戻ります。
- ※ (F1) (F4) 以外のキーを押しても「テーブル内容」画面に戻ります。



次ページへつづく

5. 電話

1. (↑) (↓) キーで「電話」を選択し、(E 発行) キーを押します。

テーブル内容
住所
氏名
電話

2. 変更する場合は、(F4) キーを押します。

ここでは変更しませんので、(E 発行) キーを押します。

「テーブル内容」画面に戻ります。

※ (F1) (F4) 以外のキーを押しても「テーブル内容」画面に戻ります。

03-3913-
0131
F4:変更 他:戻る

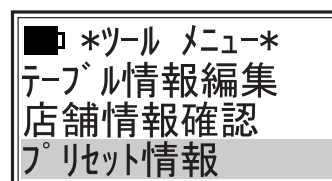
3. (P 初期) キーで「ツールメニュー」画面に戻ります。

テーブル内容
住所
氏名
電話

■ *ツールメニュー*
発行履歴情報
テーブル情報編集
店舗情報確認

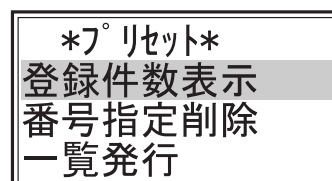
18. プリセット情報

- ツールメニュー【→ P30】の「プリセット情報」を起動します。
- (↑) (↓) キーを押してスクロールさせると隠れているプリセット情報項目が表示されます。

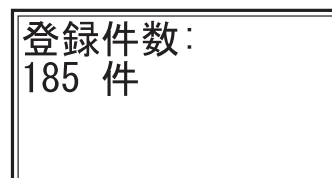


1. 登録件数表示

1. (↑) (↓) キーで「登録件数表示」を選択し、(E 発行) キーを押します。



2. 「登録件数：」画面に本体に登録されているデータの件数が表示されます。

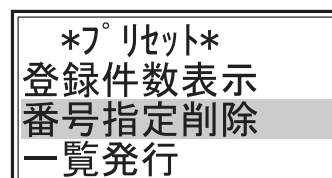


2. (E 発行) キーを押すと「プリセット」画面に戻ります。

2. 番号指定削除

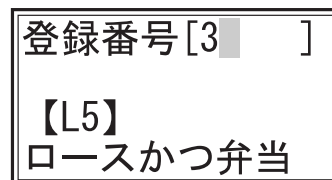
- ここでは登録番号「3」番のデータを削除します。

1. (↑) (↓) キーで「番号指定削除」を選択し、(E 発行) キーを押します。



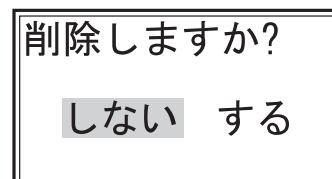
2. 「登録番号」入力画面が表示されます。

2. (3 GH) を押すと登録番号「3」番の内容（レイアウト番号、品名）が表示されます。



3. (E 発行) キーを押します。

4. (←) (→) キーで「する」を選択し、キーを押します。




次へつづく

次ページへつづく

18. プリセット情報 (つづき)



5. 「削除終了!」と表示され、「登録番号」入力画面に戻ります。

6.  キーで「プリセット」画面に戻ります。


削除終了!

3. 一覧発行


1. 本体にラベルをセットして下さい。【別紙本体編：P13 参照】

2.   キーで「一覧発行」を選択し、 キーを押します。

3. 右の画面が表示されます。

このまま  キーを押すと、本体に登録されている全てのプリセットデータが連続発行されます。

発行するラベルに登録（プリセット）番号を印字するかどうかを選択することができます。「はい」にすると、ラベルの左上に登録（プリセット）番号を印字します。

※「開始番号」と「終了番号」を指定して  キーを押すと、指定範囲内のプリセットデータが連続発行されます。


4. 印字中は、「指定範囲発行中...」画面が表示され、登録番号を表示しながら発行します。


一覧発行サンプル



※ ラベルの左上に登録番号を黒枠・白文字で印字します。

補足

印刷を途中で止める場合は、 キーを押します。

印刷を続ける場合は「いいえ」、中止する場合は「はい」を選択し、 キーを押すと一覧発行に戻ります。

プリセット
登録件数表示
番号指定削除
一覧発行

開始番号 [1]
終了番号 [10000]
【未使用】

登録番号を印字?
いいえ はい

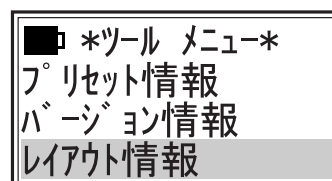
指定範囲発行中..
登録件数: 185
C:中止 E:発行
番号00001 C:中止

処理中止?
いいえ はい
番号00002 C:中止

19. レイアウト情報

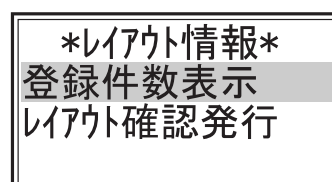
■ ツールメニュー【→ P30】の「レイアウト情報」を起動します。

■ **↑** **↓** キーを押してスクロールさせると隠れているレイアウト情報項目が表示されます。

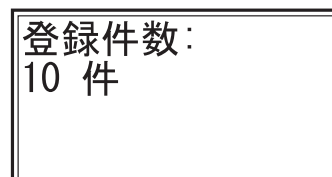


1. 登録件数表示

1. **↑** **↓** キーで「登録件数表示」を選択し、**E** _{発行} キーを押します。



2. 「登録件数：」画面に本体に登録されているレイアウトの件数が表示されます。

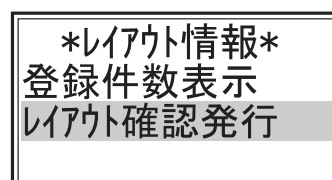


E _{発行} キーを押すと「プリセット」画面に戻ります。

2. レイアウト確認発行

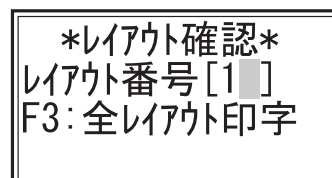
■ここでは「1」番のレイアウトを発行します。

1. **↑** **↓** キーで「レイアウト確認発行」を選択し、**E** _{発行} キーを押します。



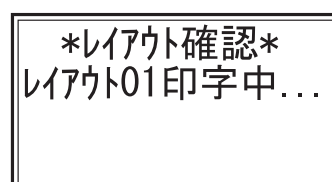
2. 「レイアウト番号」入力画面が表示されます。

1 _{ABC} _ア を押し、**E** _{発行} キーで確定します。



3. **E** _{発行} キーを押すと、レイアウト「1」番が発行されます。
(次ページのレイアウトサンプル参照)

印字中は右の画面が表示され、印字が終了すると「レイアウト番号」入力画面に戻ります。



※ **F3** キーを押すと、本体に登録されている全てのレイアウトが連続発行されます。

次ページへつづく

19. レイアウト情報 (つづき)

4. **P**初期 キーで「レイアウト情報」画面に戻ります。



補足

「レイアウト番号」入力画面で、登録していない番号を入力すると「レイアウト未登録」と表示して「レイアウト番号」入力画面に戻ります。正しい「番号」を入力しなおしてください。

レイアウト確認

レイアウト未登録

F3 キーで全てのレイアウトを連続発行中に、印刷を途中で止める場合は、**C**クリア キーを押します。

印刷を続ける場合は「いいえ」、中止する場合は「はい」を選択し、**E**発行 キーを押します。

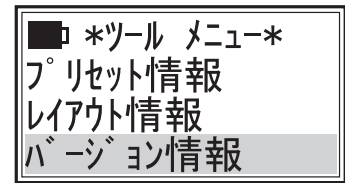
処理中止?

いいえ はい

20. バージョン情報

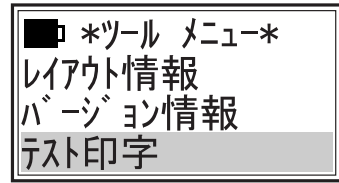
- ツールメニュー【→ P30】の「バージョン情報」を起動します。
 - (↑) (↓) キーを押してスクロールさせると隠れているバージョン情報項目が表示されます。
1. (E
発行) キーを押すと画面に IPL と SYS のプログラムバージョン番号を表示します。

 2. (E
発行) キーか (P
初期) キーを押すと「ツールメニュー」画面に戻ります。



21. テスト印字

- ツールメニューの【→ P30】「テスト印字」を起動します。
- (↑) (↓) キーを押してスクロールさせると隠れているテスト印字項目が表示されます。



1. 斜線パターン

- 斜線のみ印字パターンを印字します。

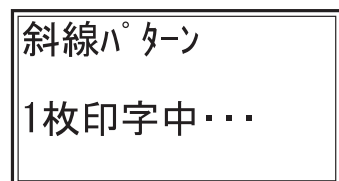
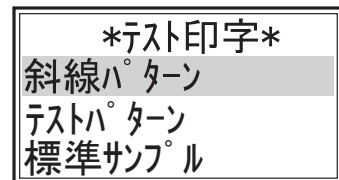
※異常パターンが印字された場合は、ヘッドの汚れ、ヘッド切れが考えられます。

ヘッドを清掃して下さい。(別冊『本体編』「日常の点検および清掃」参照)

※印字ヘッドを清掃しても異常パターンが印字される場合は、ヘッド切れの故障です。

使用を中止し、お買い上げいただいた販売店か、メーカーにサービスコールして下さい。

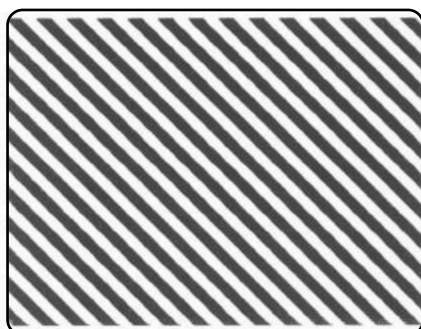
1. (↑) (↓) キーで「斜線パターン」を選択し、(E 発行) キーを押します。



2. 印字を開始します。(サンプル参照)
「一枚印字中…」と表示され、印字が終了すると「テスト印字」画面に戻ります。

3. (P 初期) キーを押すと「ツールメニュー」画面に戻ります。

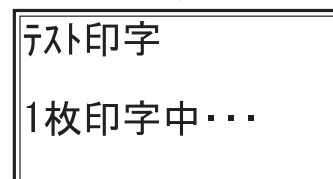
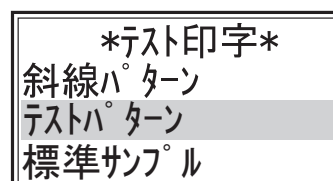
斜線パターンサンプル



2. テストパターン

■テストパターンを印字します。

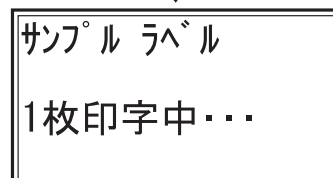
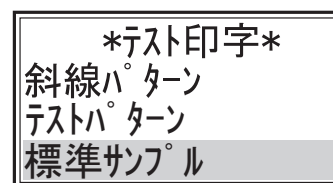
1. (↑) (↓) キーで「テストパターン」を選択し、(E 発行) キーを押します。
2. 印字を開始します。(次ページのサンプル参照)
「一枚印字中…」と表示され、印字が終了すると「テスト印字」画面に戻ります。
3. (P 初期) キーを押すと「ツールメニュー」画面に戻ります。



3. 標準サンプル

■標準サンプルを印字します。

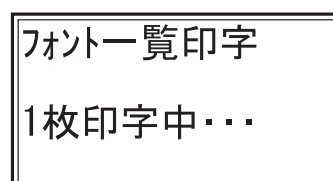
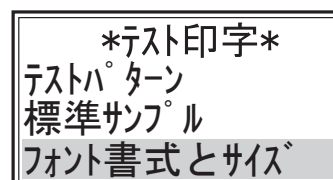
1. (↑) (↓) キーで「標準サンプル」を選択し、(E 発行) キーを押します。
2. 印字を開始します。(次ページのサンプル参照)
「一枚印字中…」と表示され、印字が終了すると「テスト印字」画面に戻ります。
3. (P 初期) キーを押すと「ツールメニュー」画面に戻ります。



4. フォント書式とサイズ

■フォントの書式とサイズを印字します。

1. (↑) (↓) キーで「フォント書式とサイズ」を選択し、(E 発行) キーを押します。
2. 印字を開始します。(次ページのサンプル参照)
「一枚印字中…」と表示され、印字が終了すると「テスト印字」画面に戻ります。
3. (P 初期) キーを押すと「ツールメニュー」画面に戻ります。



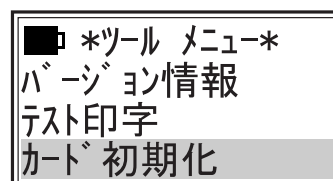
次ページへつづく

22. カードの初期化

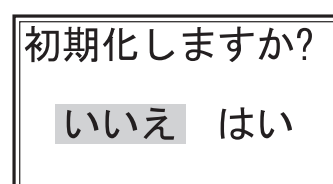
- ツールメニュー【→ P30】の「カードの初期化」を起動します。

注) 初期化をするとカード内のデータは消えます。

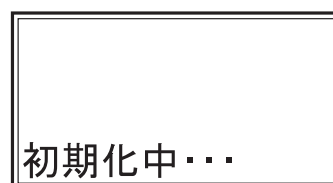
- 初期化する「CF カード」を本体に挿入して下さい。
カードの挿入方法は、別冊『本体編』をご覧ください。



1. (←) (→) キーで「はい」を選択し、(E 発行) キーを押します。



2. 「初期化中・・・」と表示して、初期化を開始します。



3. 初期化が終わると、「CF カード初期化終了！」と表示され、「ツールメニュー」画面に戻ります。



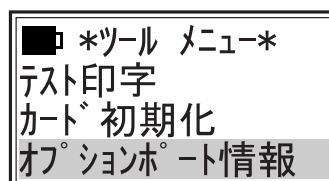
これでカードが初期化されました。



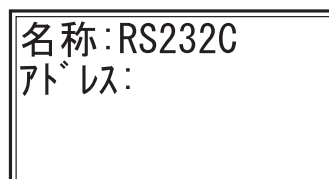
注意： ● カードを初期化すると、カードに保存されているデータがすべて削除されます。
● カードのフォーマット形式が異なる場合は、フォーマット失敗！と表示されます。
パソコンでCFカードをFAT形式でフォーマットしてから、再度初期化して下さい。

23. オプションポート情報

■ ツールメニュー【→ P30】の「オプション
ポート情報」を起動します。



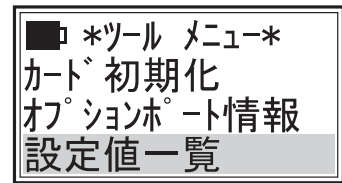
1. オプションのRS232Cポート、LANポート、Bluetooth等が
装備されていれば、アドレスを表示します。



2. (E)キーか (P)キーを押すと「ツールメニュー」画面
に戻ります。

24. 設定値一覧

■ ツールメニュー【→ P30】の「設定値一覧」を起動します。



1. ソフトのバージョン番号や印字濃度など各種設定値を印字します。(サンプル参照)
2. 「設定値一覧」と表示され、印字が終了すると「ツールメニュー」画面に戻ります。

設定値一覧サンプル


IPLバージョン	neo-IPL-04
システムバージョン	neo-F002-12
ソフトバージョン	neo-font-2.00
Flash ROM	8M Bytes
RAM	2M Bytes
EEPROM	2K Bytes
パワータイプ	バッテリー
ヘッドタイプ	203DPI
トール発行距離	8.241m
標準ポート	USB(v1.1)
オプションポート	なし
印字濃度	15
発行方式	フィア
制御発行動作	センサ
発行後テストパターン	なし
言語選択	西暦
元年	1989
価格マーク	¥
価格カマ(,)追加	しない
価格マークサイズ (%)	100
LODコントラスト	8
バックライトの使用	する
自動OFFの使用	する
時間間隔(秒)	10
自動パワーOFF	しない
時間間隔(分)	15
ペーパ出し方向	戻出し
左右移動量(ドット)	0
ボイス	あり
エラー音	あり
発行後の表示画面	呼出
デフォルト発行枚数	1
発行前に一旦確認	しない
初期画面設定	X12メニュー
0円の価格を印字	しない
固定番号(0:無し)	0
消費税率(%)	5.0
税額端数処理	四捨五入
デフォルト呼出方式	呼出番号発行
固定発行枚数	0

25. スキャニング

■ ツールメニュー【→ P30】の「スキャニング…」を起動します。

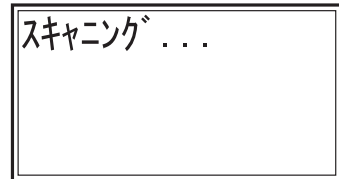
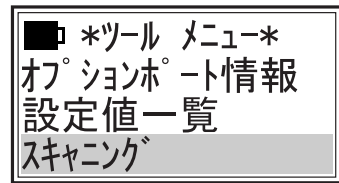
■ 本体にスキャナ（別売）を接続しているとき、バーコード番号をスキャニングで確認することができます。

■ スキャナの接続方法および使い方は、別冊『本体編』をご覧ください。

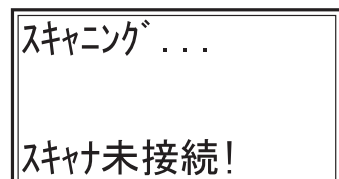
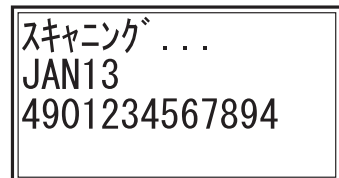
1. スキャナでバーコードを読み取ります。
2. 読み取ったバーコードの種類とバーコード内容が表示されます。
スキャンするたびにバーコードの種類とバーコード内容が表示されます。
3.  キーを押すと「ツールメニュー」画面に戻ります。

補足

本体にスキャナを接続していない場合は、機能しません。
「スキャナ未接続！」が表示されます。

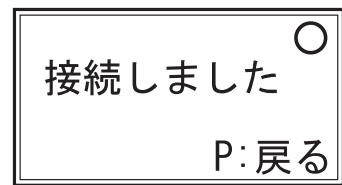
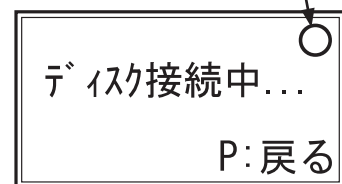
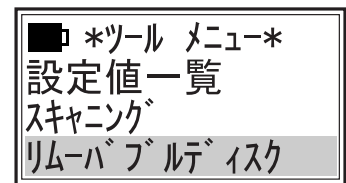



(例)



26. リムーバブルディスク

- ツールメニュー【→ P30】の「リムーバブルディスク」を起動します。
 - 本体にCFカードをセットした状態で、パソコンと本体を接続する事でパソコンの外部メモリとして使用できます。
 - パソコンと本体の接続方法および使い方は、別冊『本体編』をご覧ください。
1. 「ディスク接続中・・・」と表示した後「接続しました」と表示されます。



2. この状態でパソコンのマイコンピュータを開くと、リムーバブルディスクが新たに表示されています。
これを外部メモリとして使用することができます。
(パソコンにより自動で表示されます。)
3.  キーを押すと「ツールメニュー」画面に戻ります。
アクセス切断、保存のために多少の時間がかかります。

補足

本体にセットされたCFカードに直接「ラベルパートナー For neo」で作成したデータファイルを保存する事ができます。

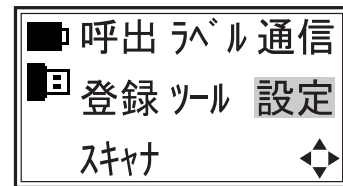
また、複数のデータファイルの保存ができます。

※複数のデータファイルをneo本体で選択するためには、ファイル名を32バイト(全角16文字)にして下さい。

27. 設定メニューについて


1. 設定メニューの起動方法

- (1) パワースイッチを押して電源を「オン」にします。
- (2) 初期画面が表示されます。



メインメニュー

- 初期画面が「メインメニュー」の場合：

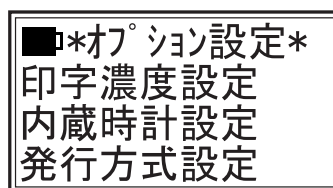
↑ ↓ ← → キーで [設定] を選択し、 キーを押します。

- 初期画面が「呼出發行」「プリセット登録」「通信モード」「スキャナモード」の場合：

 キーを押して「メインメニュー」画面を呼び出し、[設定] を選択します。

2. 設定メニューの項目

-  キーを押してスクロールさせると隠れている項目が表示されます。



発行後テストパターン
ほかの設定

3. 各項目の起動方法

-  キーで項目を選択し、 キーで決定、起動します。

4. 設定メニュー終了

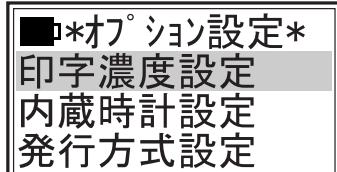
- 「設定メニュー」画面の状態では、 キーあるいは  キーを押すと「設定メニュー」が終了し、「メインメニュー」画面に替わります。

28. 印字濃度の設定

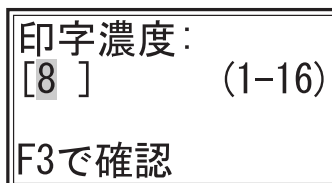
- 設定メニュー【→ P76】の「印字濃度設定」を起動します。

※印字濃度を設定します。

- 設定範囲：1（薄） - 16（濃）（出荷時：8）



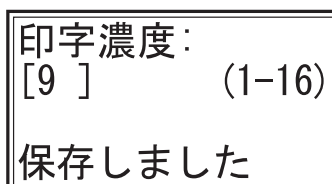
1. 印字濃度を $\text{0}^{\text{フジ}}$ ~ 9^{XYZ} キーで入力し、 $\text{E}^{\text{発行}}$ キーを押します。
(\uparrow \downarrow キーで、表示されている数値を1段階ずつ替える事もできます。)



※初めに表示される数値は、現在設定されている数値です。

変更しない場合は、 $\text{P}^{\text{初期}}$ キーか $\text{E}^{\text{発行}}$ キーを押すと「オプション設定」画面に戻ります。

2. 設定を変更した場合、「保存しました」と表示され、「オプション設定」画面に戻ります。



補足

- 「印字濃度：」設定画面で、 F3 キーを押すと、斜線パターン【P68 参照】が発行されますので、濃度の確認ができます。

29. 内蔵時計設定

- 設定メニュー【→ P76】の「内蔵時計設定」を起動します。

※内蔵時計を設定します。

■*オプション設定*
印字濃度設定
内蔵時計設定
発行方式設定

1. 内蔵時計の日付・時刻の項目ごとに (0^ア) ~ (9^{XYZ}) キーで入力し、(E^{発行}) キーを押します。

※現在時刻を正確に設定するために、下記「補足」を参照してください。

内蔵時計:
日付:2008.03.10
時刻:15:30:00
曜日:月

2. 内蔵時計（現在時刻）が設定されました。

「保存しました」と表示され、「オプション設定」画面に戻ります。

内蔵時計:
日付:2008.03.10
時刻:15:30:00
保存しました

補足

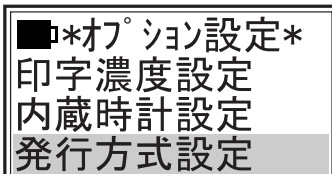
- 現在時刻よりも「1分00秒」進めておいて、標準時計がその[00秒]になるのに合わせて、(E^{発行}) キーを押すと正確な時刻が設定できます。
- 保存しましたと表示されて、内蔵時計の変更が終了となります。
変更途中で (P^{初期}) を押した場合は、キャンセル扱いとなり変更はされません。
- 設定を中止する場合は (P^{初期}) キーを押すと、「内蔵時計設定」はキャンセルされて「オプション設定」画面に戻ります。

30. 発行方式設定

■ 設定メニュー【→ P76】の「発行方式設定」を起動します。

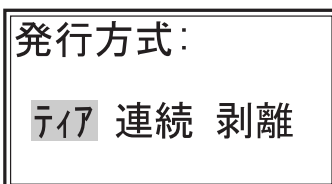
※発行方式を「ティア」「連続」「剥離」から選択します。

※表示画面は、現在設定されているモードにカーソルがあります。

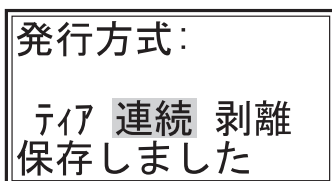


■ ティア・連続を選択した場合

● (←) (→) キーで「ティア」「連続」から選択し、(E発行) キーを押します。



● 「保存しました」と表示され、「オプション設定」画面に戻ります。



■ 「ティア」(ティアオフ) 発行は、印字の最後のラベルが、手切りしやすいように、カッターの位置まで繰り出てきます。

■ 「連続」発行は、印字の最後のラベルが、排出口の奥に留まっています。
ラベルが切り離しにくい場合は、紙送りの (F3) キーを押して、1枚のテストパターンが印字されたラベルを発行し切り離します。

■ 剥離を選択した場合

● 「剥離」を選択し、(E発行) キーを押すと、「保存しました」と表示後「剥離発行動作:」画面が表示されます。

● 発行トリガーとして、剥離センサーか (E発行) キーかを選択します。(←) (→) キーで「センサー」か「Eキー」かを選択し、(E発行) キーを押します。

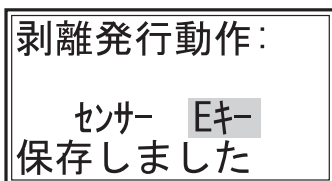
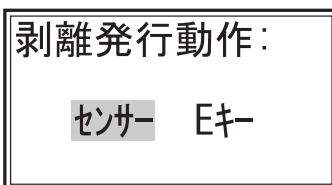
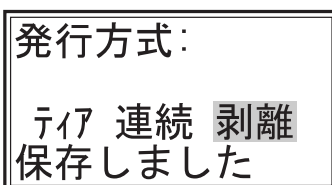
※ 「センサー」に設定し枚数を入力する事で、ラベルを取ると自動で次のラベルが発行されます。

途中で止める場合は、(S停止) キーを押してから (Cクリア) キーを押してラベルを取ります。

※ (E発行) キー設定すると、枚数を入力せずに (E発行) キーを押すごとにラベルを1枚発行します。

(ただし、レイアウト、データの作成方法によります。)

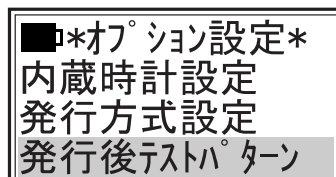
● 「保存しました」と表示され、「オプション設定」画面に戻ります。



31. 発行後テストパターン

- 設定メニュー【→ P76】の「発行後テストパターン」を起動します。

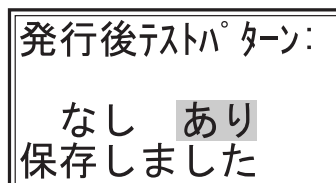
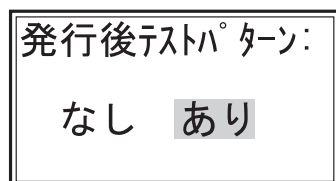
※連続発行やティア発行の最後にテストパターンを印字するかしないかを設定します。
ティア発行後は、印字されたラベルが取り易くなります。



1. (←) (→) キーで「なし」か「あり」を選択し、(E発行) キーを押します。(出荷時：あり)

※初めに表示される画面では、現在設定されているモードにカーソルがあります。変更しない場合は、そのまま (E発行) キーを押すと「オプション設定」画面に戻ります。

2. 設定を変更した場合、「保存しました」と表示され、「オプション設定」画面に戻ります。



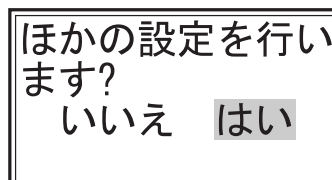
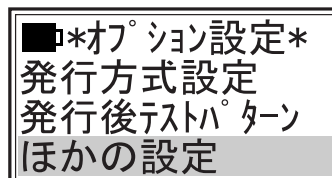
32. ほかの設定

1. 設定メニュー【→ P76】の「ほかの設定」を起動します。

※「印字濃度設定」「内蔵時計設定」「発行方式設定」「発行後テストパターン」【P76～P80】のほかに、使用頻度の低い設定を「ほかの設定」に集めています。

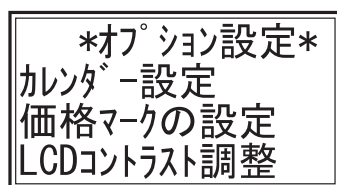
- (←) (→) キーで「はい」を選択し、(E_{発行}) キーを押します。

※「いいえ」を選択すると「オプション設定」画面に戻ります。



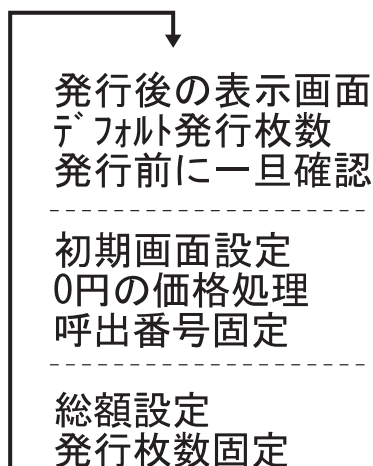
2. ほかの設定メニューの項目

- (↑) (↓) キーを押してスクロールさせると隠れている項目が表示されます。



LCDバックライト設定
自動パワーオフ
ラベルの出し方向

印字左右移動
ボタンの設定
エラー音の設定



3. 各項目の起動方法

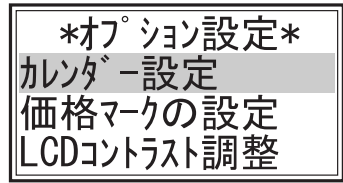
- (↑) (↓) キーで項目を選択し、(E_{発行}) キーで決定、起動します。

4. ほかの設定各項目の終了

- 「ほかの設定」の「オプション設定」画面の状態、(P_{初期}) キーを押すと「設定メニュー」の「オプション設定」画面に戻ります。
- 「ほかの設定」の「オプション設定」画面の状態、(F1) キーを押すと「設定メニュー」が終了し、「メインメニュー」画面に替わります。

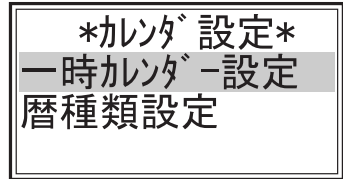
33. カレンダー設定

- 設定メニュー【→ P76】の「ほかの設定」を起動【→ P81】し、さらに「カレンダー設定」を起動します。

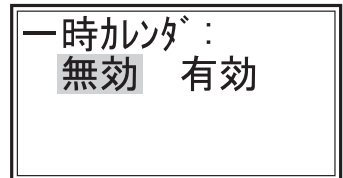


1. 一時カレンダー設定

1. (↑) (↓) キーで「一時カレンダー設定」を選択し、(E 発行) キーを押します。



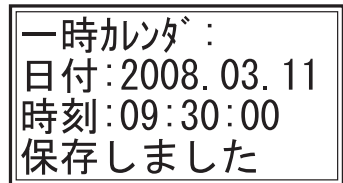
2. (←) (→) キーで「有効」か「無効」かを選択し、(E 発行) キーを押します。



3. 「有効」を選択した場合は、一時カレンダーの日付・時刻をキー (0^{7分}) ~ (9^{XYZ}) で入力し、(E 発行) キーを押します。



4. 一時カレンダーが設定されました。
「保存しました」と表示され、「カレンダー設定」画面に戻ります。



- 「有効」と設定した場合:
日付項目は一時カレンダーの日時で印字されます。

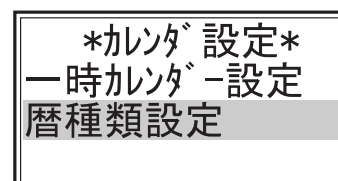
- 「無効」と設定した場合:
日付項目は内蔵時計（リアルタイム）で印字されます。

補足

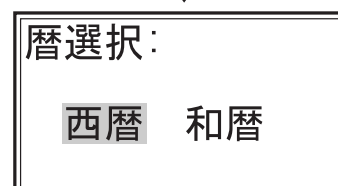
- 設定中、設定を中止する場合は、(P 初期) キーを押すと「一時カレンダー設定」はキャンセルされて「カレンダー設定」画面に戻ります。
- 一度設定した一時カレンダーは、電源を「オフ」にするまで保ちつづけます。
- 「一時カレンダー設定」は、電源を「オン」直後、常に「無効」になります。

2. 暦種類設定

1. **↑** **↓** キーで「暦種類設定」を選択し、**E**_{発行} キーを押します。

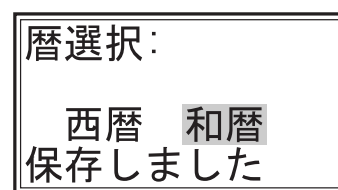


2. **←** **→** キーで「西暦」か「和暦」かを選択し、**E**_{発行} キーを押します。(出荷時：西暦)

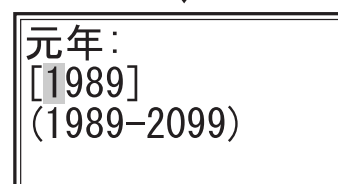


- ※初めに表示される画面では、現在設定されているモードにカーソルがあります。変更しない場合は、そのまま **E**_{発行} キーを押すと「カレンダー設定」画面に戻ります。

3. 「西暦」から「和暦」に変更した場合、「保存しました」と表示し、「元年」入力画面に進みます。



4. ここでは、変更しませんので、**E**_{発行} キーを押します。



- 「カレンダー設定」画面に戻ります。

補足

- 上記4は、元号が変わった場合に、設定します。

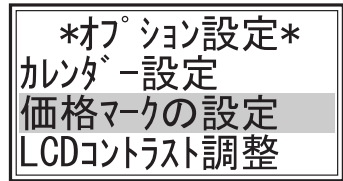
元年の西暦年を **0**_ワ ~ **9**_{XYZ} キーで入力し、**E**_{発行} キーを押します。

- 設定中、設定を中止する場合は、**P**_{初期} キーを押すと、「暦種類設定」はキャンセルされて「カレンダー設定」画面に戻ります。

- 和暦に変更しても「平成」の文字は、印字されません。

34. 価格マークの設定

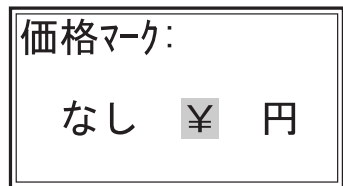
- 設定メニュー【→ P76】の「ほかの設定」を起動【→ P81】し、さらに「価格マーク」を起動します。



① 印字する価格マークの設定

(出荷時:「¥」)

- 価格マークを「なし」「¥」「円」から選択します。
- ← → キーで選択し、 キーを押します。



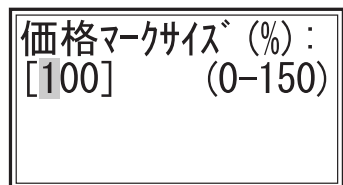
② 価格マークサイズの設定

(出荷時:「100」)

- 印字する価格マークのサイズを ~ キーで設定します。

注) 価格フォントにより価格マークサイズ設定率が有効にならない場合があります。

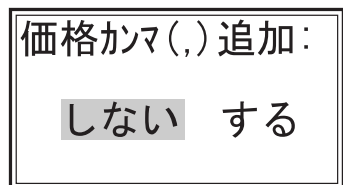
- ここでは、変更しませんので、 キーを押します。



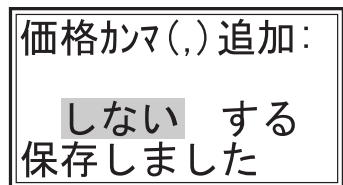
③ カンマ追加の設定

(出荷時:「しない」)

- 価格の千と万の間にカンマを自動的に追加するかしないかを設定します。
- ← → キーで「しない」か「する」を選択し、 キーを押します。



- 設定を変更した場合は「保存しました」と表示され、「ほかの設定」の「オプション設定」画面に戻ります。



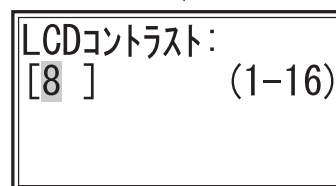
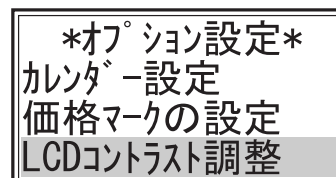
35. LCDコントラスト調整

- 液晶ディスプレイ（表示画面）の明るさを調整することができます。

設定範囲：1（暗）～ 16（明）

（出荷時：8）

- 設定メニュー【→ P76】の「ほかの設定」を起動【→ P81】し、さらに「LCDコントラスト調整」を起動します。

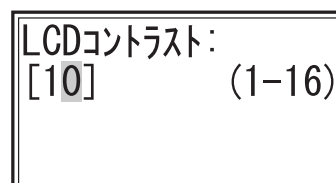


- キーで、表示されている数値を1段階ずつ替えて キーで確定します。

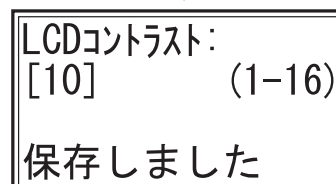
※数字キーで入力することもできます。

（例）LCDコントラストを「8」から「10」にする場合

1. キーで「10」にし、 キーを押します。



2. LCDコントラストを「10」に設定しました。
「保存しました」と表示され、「ほかの設定」の「オプション設定」画面に戻ります。



補足

- 起動したときに表示される数値は、現在設定されている数値です。
変更しない場合は、 キーか キーを押すと、「ほかの設定」の「オプション設定」画面に戻ります。

36. LCDバックライト設定

- 液晶ディスプレイに対するバックライトの使用を設定します。
- バックライトを使用する場合、自動 OFF 機能（設定範囲：10 秒～180 秒）の設定をします。
（出荷時：バックライト使用・自動 OFF 使用・10 秒間隔）

■設定メニュー【→P76】の「ほかの設定」を起動【→P81】し、さらに「LCD バックライト設定」を起動します。

オプション設定
価格マークの設定
LCDコントラスト調整
LCDバックライト設定

（例）バックライトを自動 OFF 「15」秒で使用する場合

1. (←) (→) キーで「する」を選択し、(E 発行) キーを押します。

●表示画面に「保存しました」と表示されます。

バックライトの使用：
しない する

2. (←) (→) キーで「する」を選択し、(E 発行) キーを押します。

●表示画面に「保存しました」と表示されます。

自動OFFの使用：
しない する

3. (1 ABC ア) (5 MN ナ) と入力して、(E 発行) キーを押します。

(↑) (↓) キーで、表示されている数値を1段階ずつ替える事もできます。)

時間間隔(秒)：
[15] 秒 (10-180)


4. バックライト使用・自動 OFF15 秒間隔に設定しました。

「保存しました」と表示され、「ほかの設定」の「オプション設定」画面に戻ります。

時間間隔(秒)：
[15] 秒 (10-180)
保存しました

※各設定画面で、選択したいモードにカーソルがある場合や、設定したい数値が表示されている場合は、すでに設定されています。そのまま (E 発行) キーを押していくと、「ほかの設定」の「オプション設定」画面に戻ります。

補足

- 「時間間隔：」画面で、キーの打ち間違いなどで入力を訂正したい場合は、キーでカーソルを戻して入力し直します。


- 「バックライトの使用：」画面で「しない」と選択した場合、「保存しました」と表示され、「ほかの設定」の「オプション設定」画面に戻ります。

バックライトの使用：
しない する
保存しました

- 「自動OFFの使用：」画面で「しない」と選択した場合、「保存しました」と表示され、「ほかの設定」の「オプション設定」画面に戻ります。

(バックライトが点灯したままになります。)

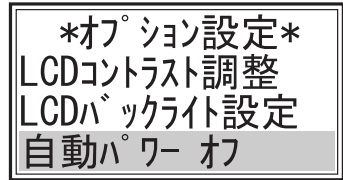
自動OFFの使用：
しない する
保存しました

- 設定中、設定を中止する場合は、キーを押すとキャンセルされて「ほかの設定」の「オプション設定」画面に戻ります。

37. 自動パワーオフ

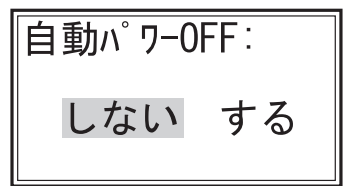
- 電源の自動パワー OFF 機能（設定範囲：5分～60分）の設定をします。
（出荷時：しない・時間間隔 15分）※通信モードの場合には、機能しません。

- 設定メニュー【→P76】の「ほかの設定」を起動【→P81】し、さらに「自動パワーオフ」を起動します。

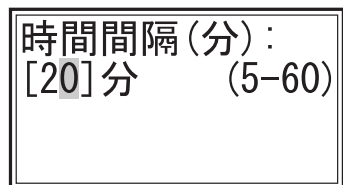


(例) 電源の自動パワー OFF 「20」分で使用する場合

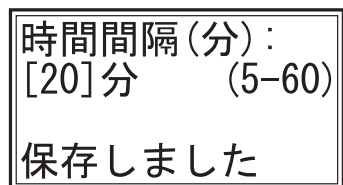
1. (←) (→) キーで「する」を選択し、(E 発行) キーを押します。
●表示画面に「保存しました」と表示され、次のステップに進みます。



2. (2^{DEF}分) (0^{OFF}分) と入力して、(E 発行) キーを押します。



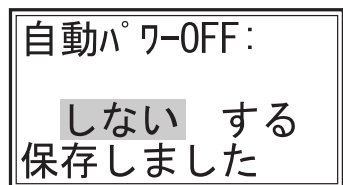
3. 電源の自動パワー OFF 「20」分に設定しました。
「保存しました」と表示され、「ほかの設定」の「オプション設定」画面に戻ります。
(20分間何も操作をしないと自動的に電源が切れます。)



※各設定画面で、選択したいモードにカーソルがある場合や、設定したい数値が表示されている場合は、すでに設定されています。そのまま (E 発行) キーを押していくと、「ほかの設定」の「オプション設定」画面に戻ります。

補足

- 電池で使用する場合は、電池の消耗を抑える事ができます。
- 「時間間隔：」画面で、キーの打ち間違いなどで入力を訂正したい場合は、(C クリア) キーでカーソルに戻して入力し直します。
- 「自動パワー OFF：」画面で「しない」と選択した場合、「保存しました」と表示され、「ほかの設定」の「オプション設定」画面に戻ります。
(パワースイッチで電源を切るまで、電源が入ったままになります。)
- 設定中、設定を中止する場合は、(P 初期) キーを押すとキャンセルされて「ほかの設定」の「オプション設定」画面に戻ります。



38. ラベルの出し方向

- ラベルが発行される時、印字データが正視できる方向（尻出し）にするか、逆視方向（頭出し）で頭のデータから印字させるかを設定します。

（出荷時：尻出し）

- 設定メニュー【→ P76】の「ほかの設定」を起動【→ P81】し、さらに「ラベルの出し方向」を起動します。

オプション設定
LCDバックライト設定
自動パワー オフ
ラベルの出し方向

1. (←) (→) キーで「尻出し」か「頭出し」を選択し、(E 発行) キーを押します。

※初めに表示される画面では、現在設定されているモードにカーソルがあります。変更しない場合は、そのまま (E 発行) キーを押すと「ほかの設定」の「オプション設定」画面に戻ります。

ラベル出し方向:
尻出し 頭出し

2. 設定を変更した場合は「保存しました」と表示され、「ほかの設定」の「オプション設定」画面に戻ります。

ラベル出し方向:
尻出し 頭出し
保存しました

39. 印字左右移動

●印字位置の左右移動量をドット単位で設定します。(出荷時：0)

※現在設定されている数値が表示されます。

■設定メニュー【→P76】の「ほかの設定」を起動【→P81】し、さらに「印字左右移動」を起動します。

オプション設定
自動パワーオフ
ラベルの出し方向
印字左右移動

●左右移動量を(↑)(↓)キーで入力し、(E発行)キーを押します。

※数字キーで入力することもできます。

※数値を大きくしていくと、印字位置が右へ移動していきます。

●「保存しました」と表示され、「ほかの設定」の「オプション設定」画面に戻ります。

左右移動量(ドット)
[0] (-40-40)
F3で確認



左右移動量(ドット)
[1] (-40-40)
保存しました

補足

●画面に「F3で確認」と表示されているときに(F3)キーを押すと、印字範囲ラベルが発行されますので、「左右移動量」の確認ができます。

印字左右移動サンプル



40. ボタン音の設定

- キーを押したときにボタン音を鳴らすか、鳴らさないかを設定します。

(出荷時：あり)

- 設定メニュー【→P76】の「ほかの設定」を起動【→P81】し、さらに「ボタン音の設定」を起動します。

オプション設定
ラベルの出し方向
印字左右移動
ボタン音の設定

1. (←) (→) キーで「なし」か「あり」を選択し、(E 発行) キーを押します。

※初めに表示される画面では、現在設定されているモードにカーソルがあります。変更しない場合は、そのまま (E 発行) キーを押すと「ほかの設定」の「オプション設定」画面に戻ります。

ボタン音：
なし あり

2. 設定を変更した場合、「保存しました」と表示され、「ほかの設定」の「オプション設定」画面に戻ります。




ボタン音：
なし あり
保存しました


41. エラー音の設定

- エラーが発生したときや設定できない数値を入力したときに警告音を鳴らすか、鳴らさないかを設定します。(出荷時：あり)

- 設定メニュー【→P76】の「ほかの設定」を起動【→P81】し、さらに「エラー音の設定」を起動します。

オプション設定
印字左右移動
ボタン音の設定
エラー音の設定

1.   キーで「なし」か「あり」を選択し、 キーを押します。

※初めに表示される画面では、現在設定されているモードにカーソルがあります。変更しない場合は、そのまま  キーを押すと「ほかの設定」の「オプション設定」画面に戻ります。

エラー音:

なし **あり**

2. 設定を変更した場合、「保存しました」と表示され、「ほかの設定」の「オプション設定」画面に戻ります。

エラー音:

なし あり
保存しました

42. 発行後の表示画面

- 印字後の表示画面を「枚数」「呼出」「メイン」の中から選択します。

(出荷時：呼出)

- 設定メニュー【→ P76】の「ほかの設定」を起動【→ P81】し、さらに「発行後の表示画面」を起動します。

オプション設定
ボタンの設定
エラー音の設定
発行後の表示画面

1. (←) (→) キーで「枚数」「呼出」「メイン」のいずれかを選択し、(E) 発行 キーを押します。

※初めに表示される画面では、現在設定されているモードにカーソルがあります。変更しない場合は、そのまま (E) 発行 キーを押すと「ほかの設定」の「オプション設定」画面に戻ります。

発行後の表示画面
枚数 呼出 メイン

2. 設定を変更した場合、「保存しました」と表示され、「ほかの設定」の「オプション設定」画面に戻ります。

発行後の表示画面
枚数 呼出 メイン
保存しました

補足

- 「枚数」を選択すると、印字後の表示画面が「発行枚数」入力になります。

00200W55H43 S32
発行枚数 [1]

- 「呼出」を選択すると、印字後の表示画面が「呼出番号」入力になります。

■ *呼出發行*
呼出番号 [200]
【L1】
コースかつ弁当

- 「メイン」を選択すると、印字後の表示画面が「メインメニュー」画面になります。

■ 呼出ラベル通信
■ 登録ツール設定
スキャナ

43. デフォルト発行枚数

- 初めから画面に表示する（デフォルト）発行枚数を設定します。

（出荷時：1）

- 設定メニュー【→P76】の「ほかの設定」を起動【→P81】し、さらに「デフォルト発行枚数」を起動します。

オプション設定
エラー音の設定
発行後の表示画面
デフォルト発行枚数

1. 「デフォルト発行枚数」を **0⁷⁷⁷⁷** ~ **9⁹⁹⁹⁹** キーで入力し、
E_{発行} キーを押します。

（**↑** **↓** キーで、表示されている数値を1ずつ増減させることもできます。）

※初めに表示される数値は、現在設定されている枚数です。

変更しない場合は、そのまま **E_{発行}** キーを押すと「ほかの設定」の「オプション設定」画面に戻ります。

2. 設定を変更した場合、「保存しました」と表示され、「ほかの設定」の「オプション設定」画面に戻ります。

デフォルト発行枚数:
[2] (0-50000)
0は前回入力枚数



デフォルト発行枚数:
[2] (0-50000)
保存しました

補足

- 「デフォルト発行枚数」に [2] を入力すれば、ラベル発行時の「発行枚数」に [2] が表示されます。「発行枚数」を変更したい場合は、数字キーで入力します。ただし、次回の「呼出發行」では、設定した数値 [2] が表示されます。

00200W55H43 S32
発行枚数 [2]

- 「デフォルト発行枚数」に [0] を入力すれば、「呼出發行」の「発行枚数」に、[前回発行枚数] が表示されます。「発行枚数」を変更したい場合は、数字キーで入力します。次回の「呼出發行」では、この時入力した枚数が表示されます。

00200W55H43 S32
発行枚数 [5]

44. 発行前に一旦確認

- 「呼出發行」で「発行枚数」を入力後すぐに発行するか、「確認」画面を表示してから発行するかを設定します。

(出荷時：しない)

- 設定メニュー【→ P76】の「ほかの設定」を起動【→ P81】し、さらに「発行前一旦確認」を起動します。

オプション設定
発行後の表示画面
デフォルト発行枚数
発行前に一旦確認

1. (←) (→) キーで「する」か「しない」を選択し、(E 発行) キーを押します。

発行前に一旦確認
しない する

2. 「保存しました」と表示され、「ほかの設定」の「オプション設定」画面に戻ります。

発行前に一旦確認
しない する
保存しました

補足

- 「しない」を選択すると、「呼出發行」で「発行枚数」を入力して (E 発行) キーを押すと、すぐに発行します。

00200W55H43 S32
発行枚数[2]

- 「する」を選択すると、「呼出發行」で「発行枚数」を入力して (E 発行) キーを押すと、「確認」画面を表示します。
(ここでは、まだ発行されません。)

もう一度 (E 発行) キーを押すと発行します。

00200W55H43 S32
ロースかつ弁当
C:中止 E:発行
済:00000残:00002

- ※「確認」画面のとき、(C クリア) キーを押すと「呼出發行」画面に戻り、「呼出番号」から入力し直すことができます。

45. 初期画面設定

●電源を「オン」にしたときに表示される初期画面を、使用頻度の高いモードに設定することができます。

※出荷時は「メインメニュー」に設定されています。

■設定メニュー【→ P76】の「ほかの設定」を起動【→ P81】し、さらに「初期画面設定」を起動します。

■**↑** **↓** キーを押してスクロールさせると隠れている項目が表示されます。

※選択したいモードにカーソルがある場合は、すでに設定されています。**E** **発行** キーか **P** **初期** キーを押すと「ほかの設定」の「オプション設定」画面に戻ります。

オプション設定
デフォルト発行枚数
発行前に一旦確認
初期画面設定



初期画面設定:
メインメニュー
呼出發行
データ登録

通信モード
スキャナモード

(例) 初期画面を「呼出發行」に設定する場合

1. **↑** **↓** キーで「呼出發行」を選択し、**E** **発行** キーを押します。

初期画面設定:
メインメニュー
呼出發行
データ登録

2. 「保存しました」と表示し、「呼出方式」画面に進みます。

初期画面設定:
メインメニュー
呼出發行
保存しました

3. 「呼出方式」では現在設定されているモードにカーソルがあります。変更しない場合は、そのまま **E** **発行** キーを押すと「ほかの設定」の「オプション設定」画面に戻ります。変更する場合は、**↑** **↓** キーで選択して **E** **発行** キーを押すと「保存しました」と表示して、「ほかの設定」の「オプション設定」画面に戻ります。

呼出方式
呼出番号発行
検索発行
予約発行

●検索発行、予約発行に設定すると、登録データの呼出し発行方式を P4 検索発行、P7 予約管理の手順で登録データを呼出して発行します。

46. 0円の価格処理

- 価格を0円と入力したとき、ラベルに [¥0] と印字するか、価格を印字しないかを設定します。
(出荷時：しない)

- 設定メニュー【→ P76】の「ほかの設定」を起動【→ P81】し、さらに「0円の価格処理」を起動します。

オプション設定
発行前に一旦確認
初期画面設定
0円の価格処理

1. (←) (→) キーで「する」か「しない」を選択し、(E 発行) キーを押します。

0円の価格を印字
しない する

2. 「保存しました」と表示され、「ほかの設定」の「オプション設定」画面に戻ります。

0円の価格を印字
しない する
保存しました

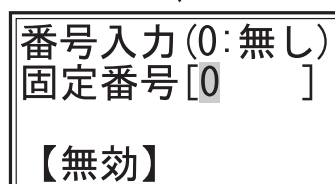
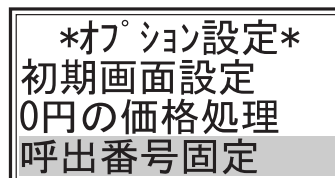
補足

- 「する」を選択すると「価格入力」で [0] を入力したとき、ラベルに [¥0] を印字します。
- 「しない」を選択すると「価格入力」で [0] を入力したとき、ラベルに価格を印字しません。

47. 呼出番号固定

- 「呼出發行」のとき、一つの「呼出番号」しか使用しない場合にこの設定をすると、「呼出番号」入力画面を表示しないで、すぐに「発行枚数」入力画面になります。

- 設定メニュー【→ P76】の「ほかの設定」を起動【→ P81】し、さらに「呼出番号固定」を起動します。



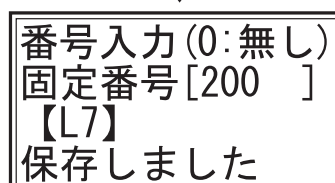
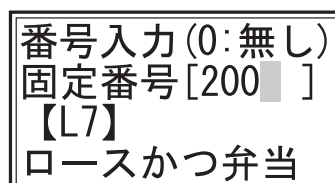
※初めに表示される数値が [0] の場合は、「呼出番号固定」が設定されていません。

※登録されていない呼出し番号を固定にすると、[未使用]と表示され、設定しても動作に影響はありません。
(固定番号を後から登録した場合は、有効となります。)

1. **0** ⁷⁷⁷⁷ ~ **9** ^{XYZ} _ラ キーで「固定番号」に、固定する「呼出番号」を入力すると、レイアウト番号、品名が表示されます。

E _{発行} キーを押します。

(**↑** **↓** キーで、表示されている数値を1ずつ増減させることもできます。)



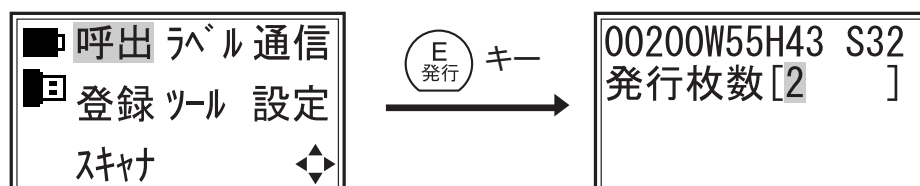
2. 「保存しました」と表示され、「ほかの設定」の「オプション設定」画面に戻ります。

同一番号の場合は、「保存しました」の表示はされません。

(次回「呼出番号固定」を起動すると、ここで入力した「固定番号」が表示されます。)

補足

- 「呼出番号固定」を設定すると、「メインメニュー」の「呼出」を選択すると、「呼出番号」入力画面を省略して、入力可能項目が表示されます。



(サンプルは、入力可能項目が枚数の場合)

- 「呼出番号固定」を解除する場合は、「固定番号」に [0] を入力してください。

48. 総額設定

●価格表示するとき、『ラベルパートナー For neo』で税込価格、税抜価格、税額を設定したとき、neo プリンタ本体で独自に消費税率とその計算の端数処理を設定することができます。

■設定メニュー【→P76】の「ほかの設定」を起動【→P81】し、さらに「総額設定」を起動します。

オプション設定
0円の価格処理
呼出番号固定
総額設定

1. 消費税設定

1. (↑) (↓) キーで「消費税設定」を選択し、(E発行) キーを押します。

2. 「消費税率(%)」画面が表示されます。

※出荷時は、消費税率 [5%] に設定してあります。

変更しない場合は、そのまま (E発行) キーを押すと「ほかの設定」の「総額設定」画面に戻ります。

総額設定
消費税設定
税額端数処理設定



消費税率 (%)
[5.0] (0~25)

(例) 消費税率を [6%] に変更する場合

1. (Cクリア) キーを押して値をクリアした後で、(6%OP) キーを押して、(E発行) キーを押します。

※税率は、[0 ~ 25%] まで設定できます。

2. 「保存しました」と表示され、「総額設定」画面に戻ります。

消費税率 (%)
[6.0] (0~25)



消費税率 (%)
[6.0] (0~25)
保存しました

2. 税額端数処理設定

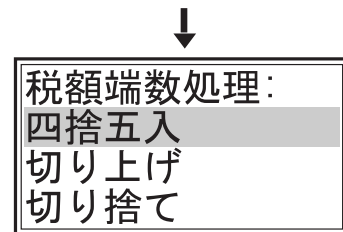
● 価格に消費税をかけた端数の処理を「四捨五入」「切り上げ」「切り捨て」から選択します。

1. (↑) (↓) キーで「税額端数処理設定」を選択し、(E 発行) キーを押します。



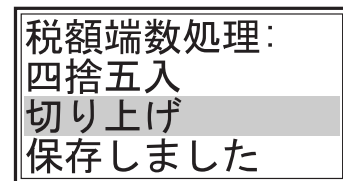
2. 「税額端数処理：」画面が表示されます。

(↑) (↓) キーで「四捨五入」「切り上げ」「切り捨て」のいずれかを選択し、(E 発行) キーを押します。



※初めに表示される画面では、現在設定されているモードにカーソルがあります。変更しない場合は、そのまま (E 発行) キーを押すと「ほかの設定」の「オプション設定」画面に戻ります。

3. 設定を変更した場合、「保存しました」と表示され、「税額設定」画面に戻ります。



4. (P 初期) キーを押すと「ほかの設定」の「オプション設定」画面に戻ります。

補足

● 『ラベルパートナー For neo』で税込価格、税抜価格、税額等を表示するように印字設定した場合に、この項で設定された「消費税率」、「税額端数処理」で自動計算します。

- ・ 四捨五入：消費税額に端数が出た場合に、小数点以下を四捨五入します。
- ・ 切り上げ：消費税額に端数が出た場合に、小数点以下が切り上げられます。
- ・ 切り捨て：消費税額に端数が出た場合に、小数点以下が切り捨てられます。

49. 発行枚数固定

- 「呼出發行」するとき、常に同じ枚数を印字する場合に設定します。

(出荷時：0)

※この設定をすると「呼出發行」で「発行枚数」の一時変更入力ができなくなります。

- 設定メニュー【→ P76】の「ほかの設定」を起動【→ P81】し、さらに「発行枚数固定」を起動します。

オプション設定
総額設定
呼出發行方式設定
発行枚数固定

1. 「固定発行枚数」を (0⁷⁷⁷) ~ (9^{XYZ}) キーで入力し、(E_{発行}) キーを押します。

(↑ ↓) キーで、表示されている数値を1ずつ増減させることもできます。

※初めに表示される数値は、現在設定されている枚数です。

変更しない場合は、そのまま (E_{発行}) キーを押すと「ほかの設定」の「オプション設定」画面に戻ります。

固定発行枚数:
[2] (0-50000)
0は一時変更入力



固定発行枚数:
[2] (0-50000)
保存しました

2. 設定を変更した場合、「保存しました」と表示され、「ほかの設定」の「オプション設定」画面に戻ります。

補足

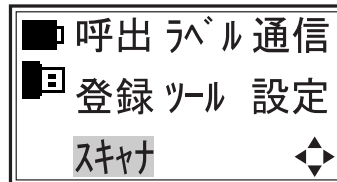
- 「固定発行枚数」を [0] に設定すると「呼出發行」で「発行枚数」の入力ができるようになります。
- 「発行枚数固定」を設定すると「呼出發行」で「発行枚数」を入力することなく設定枚数が自動発行されます。

50. スキャナ発行のしかた

- スキャナ（別売）を使用すると、「コピー発行」「呼出發行」をすることができます。
- スキャナの接続方法および使い方は、別冊『本体編』をご覧ください。

■ 電源を入れ、モードを選択する

- (1) パワースイッチを押して電源を「オン」にします。
- (2) 初期画面が表示されます。



メインメニュー

- 初期画面が「メインメニュー」の場合：

↑ ↓ ← → キーで「スキャナ」を選択し、**E**発行 キーを押します。

- 初期画面が「スキャナモード」の場合：

「スキャナ発行」画面が表示されます。

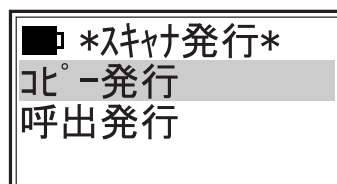
- 初期画面が「呼出發行」「プリセット登録」「通信モード」の場合：

F1 キーを押して「メインメニュー」画面を呼び出し、「スキャナ」を選択します。

1. コピー発行

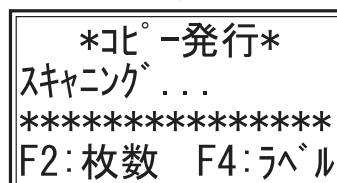
- スキャナで読み取ったバーコードと同じバーコードを発行します。
- 当製品で発行したラベルのバーコードはもちろん、商品に印刷されているバーコードを読み取って発行することもできます。

1. ↑ ↓ キーで「コピー発行」を選択し、**E**発行 キーを押します。



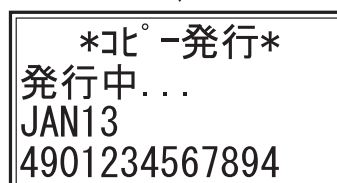
2. 「コピー発行」画面が表示されます。

3. スキャナでバーコードをスキャンすると、同じバーコードを発行します。



発行中はバーコード番号が表示されます。

4. 発行が終わると「コピー発行」画面に戻ります。



5. **P**初期 キーを押すと「スキャナ発行」画面に戻ります。

補足

- バーコードをスキャンする前に (F2) キーを押すと、発行枚数を事前に設定することができます。
数字キーで枚数を入力し、(E_{発行}) キーを押します。

- バーコードをスキャンする前に (F4) キーを押すと、発行するラベルの設定を変更することができます。
詳細は、「ラベル設定について」【→ P12】を参照してください。なお、ここで変更または設定確認できるラベルは、「コピー発行ラベル」です。

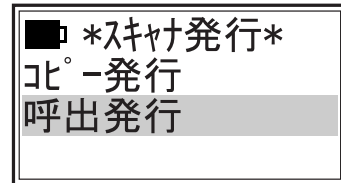
コピー発行
発行枚数[2]

ラベル定義
ラベル名
ラベル幅
ラベル高さ

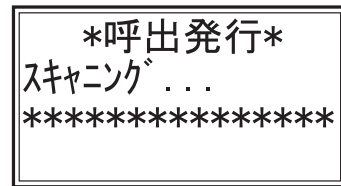
2. 呼出發行

●プリセット（登録）してあるラベルをスキャナで読み取り、同じラベルを発行します。

1. (↑) (↓) キーで「呼出發行」を選択し、(E 発行) キーを押します。
2. 「呼出發行」画面が表示されます。
3. スキャナで登録してあるラベルのバーコードをスキャンします。



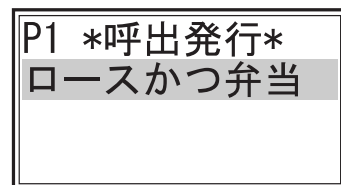
4. 検索結果が表示されます。
(右の画面はロースかつ弁当のバーコードをスキャンした場合の画面です。)



※品名がキー項目に指定されている場合に限りです。

キー項目の指定が無い場合は、データの中の最初に作成された項目がキー項目となり表示されます。

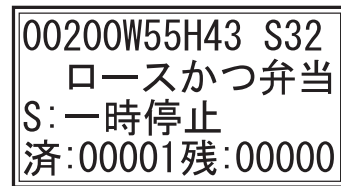
検索結果を確認して (E 発行) キーを押します。



6. ここで一時変更で設定されていれば、発行枚数を入力することができます。



7. (E 発行) キーを押すとラベルを発行します。
発行中は右の画面が表示され、発行が終わると「発行枚数」画面に戻ります。



8. (P 初期) キーを押すと「呼出發行」画面に戻ります。
9. さらに (P 初期) キーを押すと「スキャナ発行」画面に戻ります。

補足

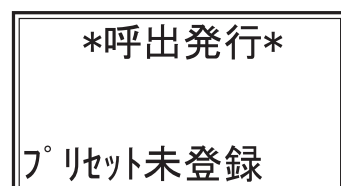
●上記4で、検索結果を確認後、ラベル発行しないで別のラベルをスキャンしたい場合は、

(P 初期) キーを押すと「呼出發行」画面に戻ります。

●スキャンしたラベルがプリセット（登録）されていない場合は、「プリセット未登録」と表示して「呼出發行」画面に戻ります。

●スキャンしたバーコードが重複して登録されている場合は、同一バーコードを表示しますので、(↑) (↓) キーで選択する事ができます。

(NONPLU で F+ アイテムコードは同一で、ラベルの商品名だけ異なる運用がされているような場合)



51. メンテメニューについて

※本体の基本設定となります。設定を変更するとデータに影響します。

設定の変更時には、注意が必要です。

※基本的には、使用開始に行う設定となります。

1. メンテメニューの起動方法

(1) (F1) キーを押しながらパワースイッチを押して電源を「オン」にします。

(2) 「バージョン情報」画面を表示した後「メンテメニュー」画面が表示されます。

※バッテリーパックでご使用のときは、「メンテメニュー」画面に「電池残量」がいっしょに表示されます。

2. メンテメニューの項目

■ (↑) (↓) キーを押してスクロールさせると隠れている項目が表示されます。

■ *メンテメニュー*
センサーレベル調整
JP650に互換
店舗情報互換性

JP650の一時変更
発行履歴設定
一時変更を保存

一時変更時初期値
未使用ラベル削除
テーブル情報管理

データ全削除
出荷設定に戻す
内蔵メモリを初期化

通信ポート設定
発行距離表示
読取バーコード設定

3. 各項目の起動方法

■ (↑) (↓) キーで項目を選択し、(E 発行) キーで決定、起動します。

4. メンテメニューの終了

■ 「メンテメニュー」画面の状態、(P 初期) キーを押すと「メンテメニュー」が終了し、「初期画面」に替わります。

52. センサーレベル調整

●「マークセンサー」と「ギャップセンサー」の感度を調整します。

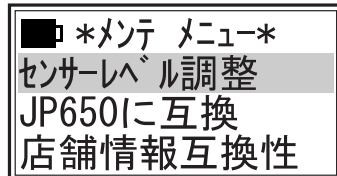
※基本的にセンサーレベルは出荷時に調整してあります。

「マークセンサー調整」： マークが薄い場合や、台紙の色が濃い場合に調整をしてください。

「ギャップセンサー調整」： 台紙の厚さ（薄い・厚い）が原因で、「ラベルエラー」が表示されたり「ラベル飛び」が発生する場合に調整をしてください。

※調整を行っても不具合が解消しない場合は、サービスコールをしてください。

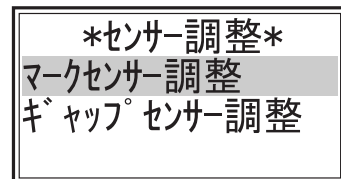
■メンテメニュー【→ P105】の「センサーレベル調整」を起動します。



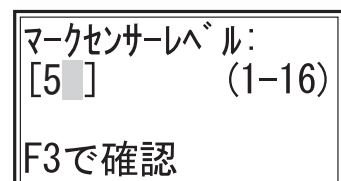
1. マークセンサー調整

(例) マークセンサーレベルを [4] から [5] に変更する場合

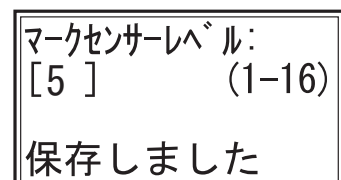
1. (↑) (↓) キーで「マークセンサー調整」を選択し、(E発行) キーを押します。



2. (↑) キーで [5] にし、(E発行) キーを押します。



3. マークセンサーレベルを [5] に設定しました。
「保存しました」と表示し、「センサー調整」画面に戻ります。



※ 初めに表示される数値は、現在設定されている数値です。

変更しない場合は、(E発行) キーか (P初期) キーを押すと「センサー調整」画面に戻ります。

「センサー調整」画面で (P初期) キーを押すと「メンテメニュー」画面に戻ります。

補足

- 前ページ 2 のとき、**0^{Off}** ~ **9^{XYZ}** キーで直接数字を入力できます。ただし、指定 (1-16) 以外の数値を入力すると「無効な入力データ!」と表示され、入力画面に戻ります。

マークセンサーレベル:
[30] (1-16)
無効な入力データ!

- 前ページ 2 で、**E_{発行}** キーを押す前に **F3** キーを押すと、右の画面が表示されます。

E_{発行} キーを押すと、グラフ (Mark Sensor Curve) が連続発行されます。**C_{クリア}** キーで発行が停止します。

Curve Width:
[50]mm (24-56)

※このモードは、使用しません。

2. ギャップセンサー調整

「ギャップセンサー調整」も、同じ手順で調整できます。

センサー調整
マークセンサー調整
ギャップセンサー調整

53. JP - 650に互換

●JP-650 の『ラベルパートナー』や、エクセルの『データ登録 for neo 専用ツール』を使用する場合、「JP-650 に互換」を選択します。

※ただし、ラベルパートナーとの通信には、本体にオプションのRS232Cポートが必要となります。

『データ登録 for neo 専用ツール』は、USBで通信できます。

■メンテメニュー【→P105】の「JP-650 に互換」を起動します。

■ *メンテメニュー*
センサーレベル調整
JP650に互換
店舗情報互換性

1. (←) (→) キーで「はい」を選択し、(E発行) キーを押します。

JP650に互換:
いいえ はい

2. 「保存しました」と表示し、「メンテメニュー」画面に戻ります。

↓
JP650に互換:
いいえ はい
保存しました

※選択したいモードにカーソルがある場合は、すでに設定されています。

(E発行) キーか (P初期) キーを押すと「メンテメニュー」画面に戻ります。

補足

●「JP-650 に互換」を設定した場合、「メインメニュー」の「通信」を起動すると、画面に「JP-650 互換モード」と表示されます。

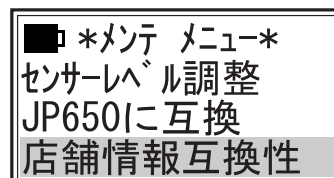
■ JP650互換モード
■ 通信待機中..

54. 店舗情報互換性

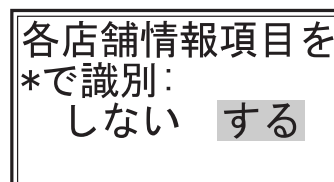
●店舗情報の各項目を*で識別「する」か「しない」かを選択します。

※「JP650 に互換」に設定し、RS232C ポートが本体にあり、JP650 用「ラベルパートナー」で作成したデータに有効となります。

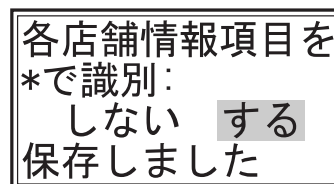
■メンテメニュー【→ P105】の「店舗情報互換性」を起動します。



1. (←) (→) キーで「しない」か「する」を選択し、(E 発行) キーを押します。



2. 「保存しました」と表示し、「メンテメニュー」画面に戻ります。



※選択したいモードにカーソルがある場合は、すでに設定されています。

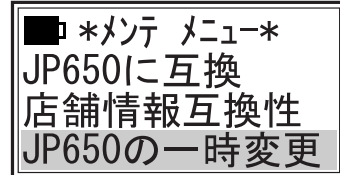
(E 発行) キーか (P 初期) キーを押すと「メンテメニュー」画面に戻ります。

55. JP - 650の一時変更

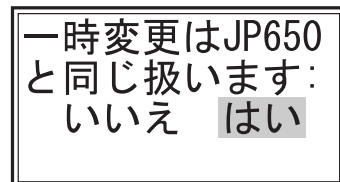
●JP650 で使用していたレイアウトを使用できるようにするために、一時変更を JP650 と同じ扱いにするように設定します。

JP650 では、文字項目以外は一時変更扱いとなっていますので、それに合わせるか否かの設定となります。

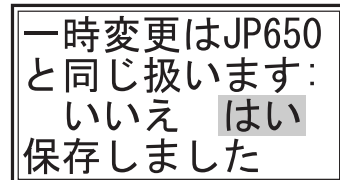
■メンテメニュー【→ P105】の「JP650 の一時変更」を起動します。



1. (←) (→) キーで「いいえ」か「はい」を選択し、(E 発行) キーを押します。



2. 「保存しました」と表示し、「メンテメニュー」画面に戻ります。



※選択したいモードにカーソルがある場合は、すでに設定されています。

(E 発行) キーか (P 初期) キーを押すと「メンテメニュー」画面に戻ります。

56. 発行履歴設定

●発行履歴を記録することができます。記録は最大 10 日まで設定できます。

最大記録可能件数は、約 340 件となります。

■メンテメニュー【→ P105】の「発行履歴設定」を起動します。

■*メンテメニュー*
店舗情報互換性
JP650の一時変更
発行履歴設定

1. (←) (→) キーで「しない」か「する」を選択し、(E_{発行}) キーを押します。

※「しない」を選択すると、「保存しました」と表示され、「メンテメニュー」画面に戻ります。

発行履歴を記録:
しない する

2. 「する」を選択した場合、「保存しました」と表示した後、「最大日数」入力画面を表示します。

発行履歴を記録:
しない する
保存しました

3. 発行履歴を記録する「最大日数」を入力します。
ここでは、(2^{DEF}_力) と入力して、(E_{発行}) キーを押します。

履歴最大日数:
[2] (1-10)

4. 「保存しました」と表示し、「メンテメニュー」画面に戻ります。

履歴最大日数:
[2] (1-10)
保存しました

※初めに表示される数値は、現在設定されている日数です。

変更しない場合は、(E_{発行}) キーか (P_{初期}) キーを押すと「メンテメニュー」画面に戻ります。

補足

●設定された日数を超えた場合には、右画面が表示されラベル発行ができなくなります。

P48 の発行履歴情報から履歴ラベルを発行の上、削除して下さい。

履歴情報期限オーバー!
削除して下さい

57.一時変更を保存

●呼出發行で一時変更した数値をそのまま保存し、次回の呼出發行のときに表示するように設定します。

■メンテメニュー【→ P105】の「一時変更を保存」を起動します。

■*メンテメニュー*
JP650の一時変更
発行履歴設定
一時変更を保存

1. (←) (→) キーで「いいえ」か「はい」を選択し、(E発行) キーを押します。

※呼出發行で一時変更項目に設定されているデータを変更した場合、「はい」を選択すると一時変更されたデータで登録されます。

一時変更を保存:
いいえ はい



2. 「保存しました」と表示し、「メンテメニュー」画面に戻ります。

一時変更を保存:
いいえ はい
保存しました

※選択したいモードにカーソルがある場合は、すでに設定されています。

(E発行) キーか (P初期) キーを押すと「メンテメニュー」画面に戻ります。

補足

- 「一時変更を保存」を「はい」に設定した場合、呼出發行で一時変更するたびにそのデータが登録されます。
- 次ページの「一時変更時初期値」が「はい」に設定されている場合は、「一時変更を保存」はできません。

58. 一時変更時初期値

- 呼出發行で一時変更した数値を、次回の呼出發行のとき [0] または空白で表示するか、または一時変更前の元データの数値を表示するかを選択します。

- メンテメニュー【→ P105】の「一時変更時初期値」を起動します。

■*メンテメニュー*
発行履歴設定
一時変更を保存
一時変更時初期値

1. (←) (→) キーで「いいえ」か「はい」を選択し、(E発行) キーを押します。

※呼出發行のときに、一時変更で常に新規入力したい場合に「はい」を選択します。

一時変更時に元データをクリア:
いいえ はい

2. 「保存しました」と表示し、「メンテメニュー」画面に戻ります。

一時変更時に元データをクリア:
いいえ はい
保存しました

※選択したいモードにカーソルがある場合は、すでに設定されています。

(E発行) キーか (P初期) キーを押すと「メンテメニュー」画面に戻ります。

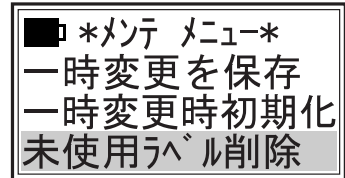
補足


- 前ページの「一時変更を保存」を有効にしたい場合は、「一時変更時初期値」を「いいえ」に設定してください。

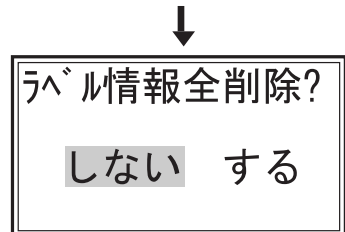
59. 未使用ラベル削除


●レイアウト登録に使用されていないラベルデータを削除します。


■メンテメニュー【→ P105】の「未使用ラベル削除」を起動します。

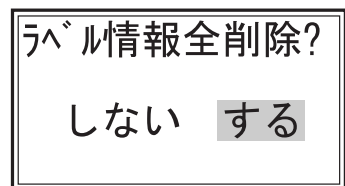


■ ← → キーで「しない」か「する」を選択し、 キーを押します。



※誤って  キーを押してラベル情報を削除しないように、初めの表示は「しない」にカーソルがあります。

1. ← → キーで「する」を選択し、 キーを押します。



2. 削除を開始します。

「削除中…」と表示し、終わると「削除終了!」と表示して、「メンテメニュー」画面に戻ります。



これでレイアウト登録に使用されていないラベルデータが削除されました。



補足

●全プリセットデータを削除した場合、レイアウト、データとも削除されますが、「ラベル」項目内の使用していたラベル表示は消されません。

次に、「ラベルパートナー For neo」からの選択送信でレイアウト、プリセットをneoに送信した場合、ラベルには使用できないラベルが残る事になります。

この使用できなくなったラベルを削除します。

60. テーブル情報管理

●本体に保存されているテーブル情報を削除します。

■メンテメニュー【→ P105】の「テーブル情報管理」を起動します。

■ *メンテメニュー*
一時変更時初期化
未使用ラベル削除
テーブル情報管理

1. 指定テーブル削除

●本体に登録されている「各種テーブル」を指定して削除します。

1. (↑) (↓) キーで「指定テーブル削除」を選択し、(E発行) キーを押します。

2. ここでは「コードテーブル」を指定して削除します。

(↑) (↓) キーで「コードテーブル」を選択して (E発行) キーを押します。

3. (←) (→) キーで「はい」を選択して (E発行) キーを押します。

4. 「削除終了！」と表示し、上記2の「テーブル管理」画面に戻ります。

※以下、同様の手順で他のテーブルの削除も行うことができます。

※「リサイクルテーブル」は、削除しても「テーブル管理」画面に表示されます。

テーブル管理
指定テーブル削除
全テーブルを削除



テーブル管理
***テーブル
***テーブル
*****テーブル



コードテーブルを削除?
いいえ はい



削除終了!

2. 全テーブルを削除

●本体に保存されているテーブルデータを全て削除します。

1. (↑) (↓) キーで「全テーブルを削除」を選択し、(E発行) キーを押します。

2. (←) (→) キーで「はい」を選択して (E発行) キーを押します。

3. 「削除終了!」と表示し、「テーブル管理」画面に戻ります。

テーブル管理
指定テーブル削除
全テーブルを削除



全テーブルを削除?
いいえ はい



削除中…
削除終了!

補足

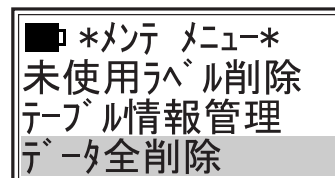
※登録データがテーブルデータとリンクした項目を削除すると、登録データのリンク項目が無くなり、その項目が印字されなくなります。

削除する際は、十分注意して下さい。

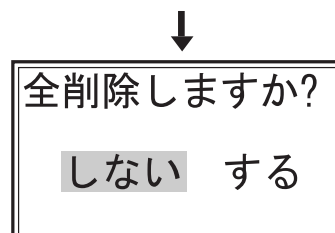
61. データ全削除

●本体に保存されているすべてのデータを削除します。

■メンテメニュー【→ P105】の「データ全削除」を起動します。

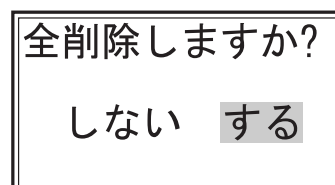


■ (←) (→) キーで「しない」か「する」を選択し、(E発行) キーを押します。



※誤って(E発行) キーを押して本体のデータを削除しないに、初めの表示は「しない」にカーソルがあります。

1. (←) (→) キーで「する」を選択し、(E発行) キーを押します。

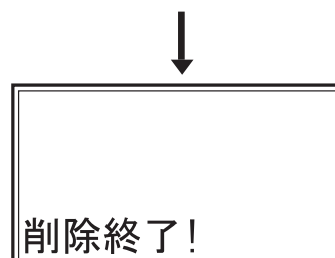


2. 削除を開始します。

「削除中…」と表示し、終わると「削除終了!」と表示して、「メンテメニュー」画面に戻ります。



これですべてのデータが削除されました。



⚠ 注意：●レイアウト、プリセット、ラベルデータ等のすべてのデータが削除されます。

ラベルリストには表示されますが、レイアウトが削除されたため利用することはできません。

P114の「未使用ラベル削除」で削除して下さい。

必要なデータは、CFカードに保存して下さい。【→ P31 データをカードに保存 参照】

62. 出荷設定に戻す

●これまでに本体に入力、設定してきた設定値を出荷時の設定に戻します。

■メンテメニュー【→ P105】の「出荷設定に戻す」を起動します。

■ *メンテメニュー*
テーブル情報管理
データ全削除
出荷設定に戻す

■ (←) (→) キーで「いいえ」か「はい」を選択し、(E 発行) キーを押します。

※誤って (E 発行) キーを押して本体の設定値を出荷値にしないように、初めの表示は「いいえ」にカーソルがあります。

↓
出荷値にする?
いいえ はい

1. (←) (→) キーで「はい」を選択し、(E 発行) キーを押します。

出荷値にする?
いいえ はい

2. 出荷値復元を開始します。

「出荷値復元中…」と表示し、終わると「出荷値にしました」と表示して、「メンテメニュー」画面に戻ります。

↓
出荷値復元中…

これで設定値が出荷値に戻りました。

↓
出荷値復元中…
出荷値にしました




注意 : ●本体に入力した設定値が出荷時の設定に戻ります。


必要なデータは、CFカードに保存して下さい。【→ P31 データをカードに保存 参照】

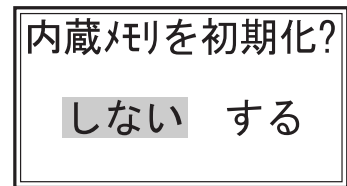
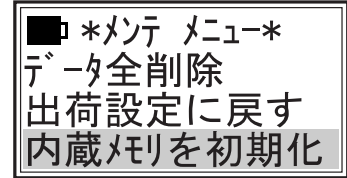
63. 内蔵メモリを初期化




●本体に内蔵されたメモリを初期化します。初期化をすると内蔵メモリ内のデータはすべて消えます。

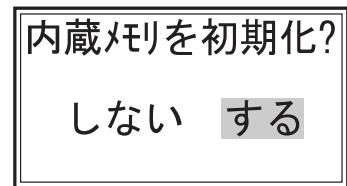
■メンテメニュー【→ P105】の「内蔵メモリを初期化」を起動します。

■   キーで「しない」か「する」を選択し、 キーを押します。

※誤って  キーを押して内蔵メモリ内のデータを削除しないように、初めの表示は「しない」にカーソルがあります。

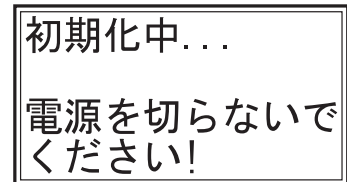


1.   キーで「する」を選択し、 キーを押します。

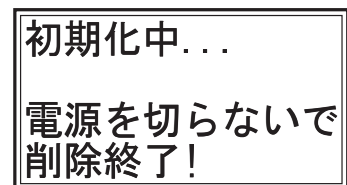


2. 初期化を開始します。

「初期化中…」 「電源を切らないでください」と表示されます。

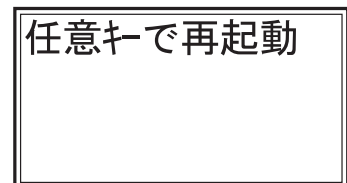



3. 初期化が終わると「削除終了!」と表示し、「任意キーで再起動」画面が表示されます。



4. どれか任意のキーを押すと、本体が再起動して「メインメニュー」画面を表示します。

これで本体に内蔵されたメモリが初期化されました。



 **注意**：●内蔵メモリ内のすべてのデータが削除されます。

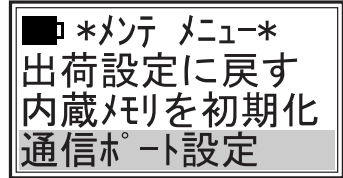
必要なデータは、CFカードに保存して下さい。【→ P31 データをカードに保存 参照】

64. 通信ポート設定

- パソコンのアプリケーションソフト JP650 用『ラベルパートナー』や『送信用エクセルツール』で通信する際に、オプションの RS232C 通信ケーブル (C-5) または USB ケーブルのどちらを使用するかを設定します。

※本体にオプションの RS232C ポートが装備されているか確認して下さい。

- メンテメニュー【→P105】の「通信ポート設定」を起動します。



■ USB ケーブルを使用する場合

1. ← → キーで「USB」を選択して (E 発行) キーを押します。



2. 「保存しました」と表示し、「メンテメニュー」画面に戻ります。



※「通信ポート:」画面が表示された時に「USB」にカーソルがある場合は、すでに設定されています。

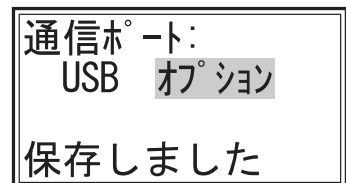
(E 発行) キーか (P 初期) キーを押すと「メンテメニュー」画面に戻ります。

■ RS232C 通信ケーブルを使用する場合

1. ← → キーで「オプション」を選択して (E 発行) キーを押します。



2. 「保存しました」と表示し、「通信パラメータ」画面に進みます。



※「通信ポート:」画面が表示された時に「オプション」にカーソルがある場合は、すでに設定されています。

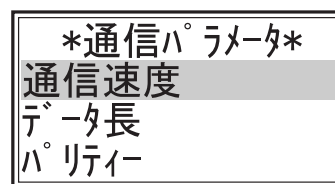
(E 発行) キーを押すと「通信パラメータ」画面に進みます。

(P 初期) キーを押すと「メンテメニュー」画面に戻ります。

↓
「通信パラメータ」画面に進みます。


3.「通信パラメータ」で通信条件を設定します。

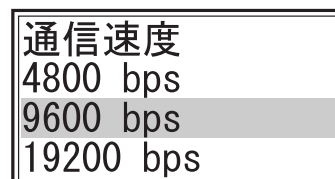
※RS232C 通信ケーブル (C-5) を使用する場合、『ラベルパートナー』で設定された通信条件に通信速度等の条件を合わせる必要があります。



フロー制御


4.「通信速度」の設定

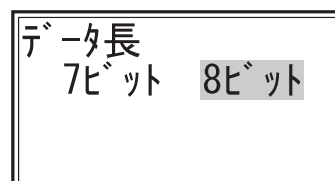
↑ ↓ キーで「9600 bps」を選択して  キーを押します。



38400 bps
57600 bps
115200 bps

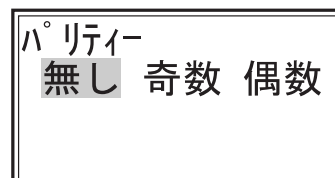
5.「データ長」の設定

← → キーで「8 ビット」を選択して  キーを押します。




6.「パリティ」の設定

← → キーで「無し」を選択して  キーを押します。






7.「フロー制御」の設定

↑ ↓ キーで「Xon/Xoff」を選択して  キーを押します。



※各項目の画面は、設定されている数値や文字にカーソルがあります。

変更しない場合は、 キーか  キーを押すと「通信パラメータ」画面に戻ります。

「通信パラメータ」画面で  キーを押すと「メンテメニュー」画面に戻ります。

■ラベルパートナーのデフォルト設定：

- 「通信速度」 …… [9600 bps]
- 「データ長」 …… [8 ビット]
- 「パリティ」 …… [無し]
- 「フロー制御」 …… [Xon/Xoff]

65. 発行距離表示



- メンテメニュー【→ P105】の「発行距離表示」を起動します。

■ *メンテメニュー*
内蔵メモリを初期化
通信ポート設定
発行距離表示



- これまでに発行したラベルの長さを「トータル発行距離」として表示します。

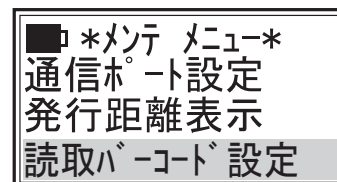
トータル発行距離：
18.608m

キーか キーを押すと「メンテメニュー」画面に戻ります。

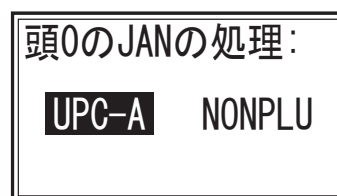
66. 読取バーコード設定

- バーコードの先頭が「0」を表わす13桁のバーコードの場合、JANコードのNONPLUで認識するかUPC-Aで認識するかを設定します。

- メンテメニュー【→ P105】の「読取バーコード設定」を起動します。



- ◀ ▶ キーでUPC-AかNONPLUかのいずれかを選択します。(デフォルトは、UPC-Aになっています。)



- (E) 発行 キーか (P) 初期 キーを押すと「メンテメニュー」画面に戻ります。

補足

- スキャナ呼出發行の場合、読み取られたバーコードの先頭が「0」を表す13桁のJANまたはUPC-Aであれば、「読取バーコード設定」の設定値でバーコードの種類を判断します。
JANコードがNONPLUの場合は、バーコード全体ではなく、NONPLUコードのみを比較します。

neo プリンタエラー表示一覧

L C D表示	内 容
カバーオープン！	印字中にカバーがオープンされた
ラベルエラー！	ラベルがなくなったか、マークまたはギャップを認識できない
充電して下さい！	電池残量が足りない
レイアウト未登録	指定レイアウトが登録されていない
プリセット未登録	指定登録番号が登録されていない
コマンドパラメーターエラー！	通信コマンドに異常があった
ヘッド過熱	ヘッド温度が高すぎる
ヘッド異常	ヘッド切れしている（サービスコール）
通信エラー！	通信パラメーターが合わないか、通信データに異常があった
リチウム電池異常！	リチウム電池の残量が足りなくなった（サービスコール）
カードタイプエラー！	CF カード以外のカードをセットした
カードフォーマットエラー！	違うフォーマットのカードをセットした
カードアクセスエラー	カードへアクセスできない
デバイスエラー	サーマルヘッドまたは通信基盤が認識できない
ラベルサイズ不足	設定したラベル長さが足りない

